

第11章 2次方程式 例題

1

解説

(ア)  $x^2=9$ を整理すると  $x^2-9=0$

これは  $x$  についての2次方程式である。

(イ)  $(x-2)(x+3)=4$ を整理すると  $x^2+x-10=0$

これは  $x$  についての2次方程式である。

(ウ)  $x(x-1)=(x+2)(x-5)$ を整理すると  $2x+10=0$

これは  $x$  についての2次方程式ではない。

よって (ア), (イ)

2

解説

(1)  $x=\pm 2$

(2)  $x=\pm\sqrt{10}$

(3)  $x=\pm\sqrt{12}$  すなわち  $x=\pm 2\sqrt{3}$

(4)  $x^2=8$  より  $x=\pm\sqrt{8}$  すなわち  $x=\pm 2\sqrt{2}$

3

解説

(1)  $(x+2)^2=5$

$x+2$  は5の平方根であるから

$$x+2=\pm\sqrt{5}$$

よって  $x=-2\pm\sqrt{5}$

(2)  $(x+1)^2-2=0$

$-2$ を移項すると

$$(x+1)^2=2$$

$x+1$  は2の平方根であるから

$$x+1=\pm\sqrt{2}$$

よって  $x=-1\pm\sqrt{2}$

(3)  $(x-3)^2-16=0$

$-16$ を移項すると

$$(x-3)^2=16$$

$x-3$  は16の平方根であるから

$$x-3=\pm 4$$

$$x=3\pm 4$$

$x=3+4$  から  $x=7$ ,  $x=3-4$  から  $x=-1$

よって  $x=7, -1$

4

解説

(1)  $x^2+6x+4=0$

$$x^2+6x=-4$$

$$x^2+6x+3^2=-4+3^2$$

$$(x+3)^2=5$$

$$x+3=\pm\sqrt{5}$$

よって  $x=-3\pm\sqrt{5}$

(2)  $x^2-4x-8=0$

$$x^2-4x=8$$

$$x^2-4x+2^2=8+2^2$$

$$(x-2)^2=12$$

$$x-2=\pm\sqrt{12}$$

よって  $x=2\pm 2\sqrt{3}$

(3)  $x^2+3x-5=0$

$$x^2+3x=5$$

$$x^2+3x+\left(\frac{3}{2}\right)^2=5+\left(\frac{3}{2}\right)^2$$

$$\left(x+\frac{3}{2}\right)^2=\frac{29}{4}$$

$$x+\frac{3}{2}=\pm\frac{\sqrt{29}}{2}$$

よって  $x=-\frac{3\pm\sqrt{29}}{2}$

(4)  $3x^2-4x-1=0$

$$x^2-\frac{4}{3}x-\frac{1}{3}=0$$

$$x^2-\frac{4}{3}x=\frac{1}{3}$$

$$x^2-\frac{4}{3}x+\left(\frac{2}{3}\right)^2=\frac{1}{3}+\left(\frac{2}{3}\right)^2$$

$$\left(x-\frac{2}{3}\right)^2=\frac{7}{9}$$

$$x-\frac{2}{3}=\pm\frac{\sqrt{7}}{3}$$

$$x=\frac{2}{3}\pm\frac{\sqrt{7}}{3}$$

よって  $x=\frac{2\pm\sqrt{7}}{3}$

5

解説

(1)  $x^2-4x-12=0$

左辺を因数分解すると  $(x+2)(x-6)=0$

よって  $x+2=0$  または  $x-6=0$

したがって  $x=-2, 6$  答

(2)  $3x^2+7x+4=0$

左辺を因数分解すると  $(x+1)(3x+4)=0$

よって  $x+1=0$  または  $3x+4=0$

したがって  $x=-1, -\frac{4}{3}$  答

(3) 両辺を2で割ると

$$x^2-6x+5=0$$

左辺を因数分解すると  $(x-1)(x-5)=0$

よって  $x-1=0$  または  $x-5=0$

したがって  $x=1, 5$  答

6

解説

(1)  $x=\frac{-(-9)\pm\sqrt{(-9)^2-4\times 3\times 5}}{2\times 3}$

$$=\frac{9\pm\sqrt{81-60}}{6}=\frac{9\pm\sqrt{21}}{6}$$

(2)  $x=\frac{-(-5)\pm\sqrt{(-5)^2-4\times 1\times (-5)}}{2\times 1}$

$$=\frac{5\pm\sqrt{25+20}}{2}$$

$$=\frac{5\pm\sqrt{45}}{2}=\frac{5\pm 3\sqrt{5}}{2}$$

(3) 両辺に  $-1$ を掛けて  $x^2+2x-4=0$

よって  $x=\frac{-2\pm\sqrt{2^2-4\cdot 1\cdot (-4)}}{2\cdot 1}=\frac{-2\pm\sqrt{20}}{2}$

$$=\frac{-2\pm 2\sqrt{5}}{2}=-1\pm\sqrt{5}$$

別解  $x$ の係数が  $-2$ (偶数)なので,  $ax^2+2b'x+c=0$ の解の公式

$$x=\frac{-b'\pm\sqrt{b'^2-ac}}{a}$$
 を用いることができる。

(両辺に  $-1$ を掛けて  $x^2+2x-4=0$  までと同じ)

$$x=\frac{-1\pm\sqrt{1^2-1\cdot (-4)}}{1}=-1\pm\sqrt{5}$$

7

解説

(1) 左辺を因数分解すると  $(x+1)(x+4)=0$

よって  $x=-1, -4$

(2)  $x=\frac{-5\pm\sqrt{5^2-4\cdot 1\cdot 5}}{2\cdot 1}=\frac{-5\pm\sqrt{5}}{2}$

8

解説

(1)  $(2x-1)(x-1)=x(2-x)$

$$2x^2-3x+1=2x-x^2$$

整理すると  $3x^2-5x+1=0$

よって  $x=\frac{-(-5)\pm\sqrt{(-5)^2-4\times 3\times 1}}{2\times 3}=\frac{5\pm\sqrt{13}}{6}$  答

(2)  $\frac{x^2-2}{2}-\frac{x^2-5x}{3}=3$

両辺に  $6$ をかけて  $3(x^2-2)-2(x^2-5x)=18$

$$3x^2-6-2x^2+10x=18$$

整理すると  $x^2+10x-24=0$

左辺を因数分解すると  $(x-2)(x+12)=0$

よって  $x=2, -12$  答

9

解説

- (1)
- $x^2=t$
- とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2 - 7t + 12 = 0$$

$$(t-3)(t-4) = 0$$

よって  $t = 3, 4$ すなわち  $x^2 = 3$  または  $x^2 = 4$ したがって  $x = \pm\sqrt{3}, \pm 2$ 

- (2)
- $x^2 - 5x = t$
- とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2 + 10t + 24 = 0$$

$$(t+4)(t+6) = 0$$

よって  $t = -4, -6$ すなわち  $x^2 - 5x = -4$  または  $x^2 - 5x = -6$  $x^2 - 5x = -4$  から  $x^2 - 5x + 4 = 0$ 

$$(x-1)(x-4) = 0$$

したがって  $x = 1, 4$  $x^2 - 5x = -6$  から  $x^2 - 5x + 6 = 0$ 

$$(x-2)(x-3) = 0$$

したがって  $x = 2, 3$ ☐  $x = 1, 2, 3, 4$ 

10

解説

- (1) 2次方程式
- $2x^2 + 7x + 4 = 0$
- について、判別式を
- $D$
- とすると

$$D = 7^2 - 4 \cdot 2 \cdot 4 = 49 - 32 = 17 > 0$$

であるから、実数解の個数は2個である。

- (2) 2次方程式
- $4x^2 - 8x + 5 = 0$
- について、判別式を
- $D$
- とすると

$$D = (-8)^2 - 4 \cdot 4 \cdot 5 = 64 - 80 = -16 < 0$$

であるから、実数解の個数は0個である。

- (3) 2次方程式
- $x^2 - 2\sqrt{5}x + 5 = 0$
- について、判別式を
- $D$
- とすると

$$D = (-2\sqrt{5})^2 - 4 \cdot 1 \cdot 5 = 20 - 20 = 0$$

であるから、実数解の個数は1個である。

11

解説

この2次方程式について、判別式を  $D$  とすると

$$D = (-2)^2 - 4 \cdot 1 \cdot (m-1) = 4(2-m)$$

- (1) 異なる2つの実数解をもつのは
- $D > 0$
- のときであるから

$$4(2-m) > 0 \quad \text{これを解いて} \quad m < 2$$

- (2) 実数解をもたないのは
- $D < 0$
- のときであるから

$$4(2-m) < 0 \quad \text{これを解いて} \quad m > 2$$

12

解説

解と係数の関係から  $\alpha + \beta = \frac{2}{3}, \alpha\beta = -\frac{4}{3}$ 

(1)  $\alpha^2\beta + \alpha\beta^2 = \alpha\beta(\alpha + \beta) = -\frac{4}{3} \cdot \frac{2}{3} = -\frac{8}{9}$

(2)  $\frac{1}{\alpha} + \frac{1}{\beta} = \frac{\alpha + \beta}{\alpha\beta} = \frac{2}{3} \div \left(-\frac{4}{3}\right) = \frac{2}{3} \cdot \left(-\frac{3}{4}\right) = -\frac{1}{2}$

(3)  $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = \left(\frac{2}{3}\right)^2 - 2 \cdot \left(-\frac{4}{3}\right) = \frac{4}{9} + \frac{8}{3} = \frac{28}{9}$

(4)  $\frac{\beta}{\alpha} + \frac{\alpha}{\beta} = \frac{\alpha^2 + \beta^2}{\alpha\beta} = \frac{28}{9} \div \left(-\frac{4}{3}\right) = \frac{28}{9} \cdot \left(-\frac{3}{4}\right) = -\frac{7}{3}$

(5)  $(\alpha - \beta)^2 = (\alpha^2 + \beta^2) - 2\alpha\beta = \frac{28}{9} - 2 \cdot \left(-\frac{4}{3}\right) = \frac{28}{9} + \frac{8}{3} = \frac{52}{9}$

13

解説

もとの自然数を  $x$  とおく。 $x$  から3をひいた数の2乗が、15から  $x$  をひいた数と等しくなるから

$$(x-3)^2 = 15 - x$$

$$x^2 - 6x + 9 = 15 - x$$

$$x^2 - 5x - 6 = 0$$

$$(x+1)(x-6) = 0$$

よって  $x = -1, 6$  $x$  は自然数であるから、 $x = -1$  は、この問題には適さない。 $x = 6$  は、問題に適している。

☐ 6

14

解説

- (1) 直線
- $AB$
- は、傾きが
- $-\frac{3}{4}$
- 、
- $y$
- 切片が3である。

よって、直線  $AB$  の式は  $y = -\frac{3}{4}x + 3$

 $t = 3$  のとき、点  $P$  の  $x$  座標は3である。よって、辺  $AB$  と直線  $m$  の交点の  $y$  座標は

$$-\frac{3}{4} \times 3 + 3 = \frac{3}{4}$$

したがって  $S = \frac{1}{2} \times 3 \times \left(3 + \frac{3}{4}\right) = \frac{45}{8} \text{ (cm}^2\text{)}$ 

(2)  $S = \frac{1}{2} \times t \times \left\{3 + \left(-\frac{3}{4}t + 3\right)\right\} = \frac{1}{2}t \left(-\frac{3}{4}t + 6\right)$

$$= -\frac{3}{8}t^2 + 3t$$

- (3)
- $S = \frac{9}{2}$
- であるから

$$-\frac{3}{8}t^2 + 3t = \frac{9}{2}$$

$$t^2 - 8t + 12 = 0$$

$$(t-2)(t-6) = 0$$

点  $P$  は辺  $OB$  上にあるから  $0 \leq t \leq 4$ よって  $t = 2$  $t = 6$  はこの問題には適さない。☐  $t = 2$ 

15

解説

- (1) 20%の食塩水100gの中には、
- $100 \times \frac{20}{100} = 20$
- (g)の食塩が含まれる。

1回目の操作後の食塩の量は、最初の食塩の量の  $\frac{100-x}{100}$  倍であるから

$$20 \times \frac{100-x}{100} = \frac{100-x}{5} \text{ (g)}$$

- (2) 2回目の操作後の容器Aの中の食塩の量は

$$\frac{100-x}{5} \times \frac{100-x}{100} = \frac{(100-x)^2}{500} \text{ (g)}$$

この量の食塩を含む100gの食塩水の濃度が5%であるから

$$\frac{(100-x)^2}{500} = 100 \times \frac{5}{100}$$

$$(100-x)^2 = 2500$$

$$100-x = \pm 50$$

$$x = 50, 150$$

 $x < 100$  であるから  $x = 50$

第11章 2次方程式 例題演習

1

解説

①～⑥の方程式を整理すると、次のようになる。

①  $x^2-12=0$       ②  $6x^2-9x=0$       ③  $-3x-6=0$   
 ④  $-15x^2+8x-10=0$       ⑤  $4x-10=0$       ⑥  $x^2-2x-3=0$

よって、 $x$ についての2次方程式であるものは ①, ②, ④, ⑥

2

解説

(1)  $x=\pm 6$   
 (2)  $x=\pm\sqrt{5}$   
 (3)  $x=\pm\sqrt{40}$  すなわち  $x=\pm 2\sqrt{10}$   
 (4)  $x^2=28$  より  $x=\pm\sqrt{28}$  すなわち  $x=\pm 2\sqrt{7}$

3

解説

(1)  $(x+3)^2=5$   
 $x+3=\pm\sqrt{5}$   
 よって  $x=-3\pm\sqrt{5}$   
 (2)  $(x+1)^2=25$   
 $x+1=\pm 5$   
 $x=-1\pm 5$   
 $x=-1+5$  から  $x=4$      $x=-1-5$  から  $x=-6$   
 よって  $x=4, -6$   
 (3)  $(x+2)^2-18=0$   
 $(x+2)^2=18$   
 $x+2=\pm 3\sqrt{2}$   
 よって  $x=-2\pm 3\sqrt{2}$   
 (4)  $(x-4)^2-49=0$   
 $(x-4)^2=49$   
 $x-4=\pm 7$   
 $x=4\pm 7$   
 $x=4+7$  から  $x=11$      $x=4-7$  から  $x=-3$   
 よって  $x=11, -3$

4

解説

(1)  $x^2+8x-4=0$   
 $x^2+8x=4$   
 $x^2+8x+4^2=4+4^2$   
 $(x+4)^2=20$   
 $x+4=\pm 2\sqrt{5}$   
 よって  $x=-4\pm 2\sqrt{5}$   
 (2)  $x^2-6x+7=0$   
 $x^2-6x=-7$   
 $x^2-6x+3^2=-7+3^2$

$$(x-3)^2=2$$

$$x-3=\pm\sqrt{2}$$

$$\text{よって } x=3\pm\sqrt{2}$$

(3)  $x^2+3x+1=0$

$$x^2+3x=-1$$

$$x^2+3x+\left(\frac{3}{2}\right)^2=-1+\left(\frac{3}{2}\right)^2$$

$$\left(x+\frac{3}{2}\right)^2=\frac{5}{4}$$

$$x+\frac{3}{2}=\pm\frac{\sqrt{5}}{2}$$

$$x=-\frac{3}{2}\pm\frac{\sqrt{5}}{2}$$

$$\text{よって } x=\frac{-3\pm\sqrt{5}}{2}$$

(4)  $x^2-5x-3=0$

$$x^2-5x=3$$

$$x^2-5x+\left(\frac{5}{2}\right)^2=3+\left(\frac{5}{2}\right)^2$$

$$\left(x-\frac{5}{2}\right)^2=\frac{37}{4}$$

$$x-\frac{5}{2}=\pm\frac{\sqrt{37}}{2}$$

$$x=\frac{5}{2}\pm\frac{\sqrt{37}}{2}$$

$$\text{よって } x=\frac{5\pm\sqrt{37}}{2}$$

(5)  $3x^2+7x+1=0$

$$x^2+\frac{7}{3}x+\frac{1}{3}=0$$

$$x^2+\frac{7}{3}x=-\frac{1}{3}$$

$$x^2+\frac{7}{3}x+\left(\frac{7}{6}\right)^2=-\frac{1}{3}+\left(\frac{7}{6}\right)^2$$

$$\left(x+\frac{7}{6}\right)^2=\frac{37}{36}$$

$$x+\frac{7}{6}=\pm\frac{\sqrt{37}}{6}$$

$$x=-\frac{7}{6}\pm\frac{\sqrt{37}}{6}$$

$$\text{よって } x=\frac{-7\pm\sqrt{37}}{6}$$

(6)  $5x^2-6x-2=0$

$$x^2-\frac{6}{5}x-\frac{2}{5}=0$$

$$x^2-\frac{6}{5}x=\frac{2}{5}$$

$$x^2-\frac{6}{5}x+\left(\frac{3}{5}\right)^2=\frac{2}{5}+\left(\frac{3}{5}\right)^2$$

$$\left(x-\frac{3}{5}\right)^2=\frac{19}{25}$$

$$x-\frac{3}{5}=\pm\frac{\sqrt{19}}{5}$$

$$x=\frac{3}{5}\pm\frac{\sqrt{19}}{5}$$

$$\text{よって } x=\frac{3\pm\sqrt{19}}{5}$$

5

解説

- (1) 左辺を因数分解すると  $x(x+4)=0$   
よって  $x=0$  または  $x+4=0$   
したがって  $x=0$  または  $x=-4$   
答  $x=0, -4$
- (2) 左辺を因数分解すると  $(x+3)(x+5)=0$   
よって  $x+3=0$  または  $x+5=0$   
したがって  $x=-3$  または  $x=-5$   
答  $x=-3, -5$
- (3) 左辺を因数分解すると  $(x-1)(x-5)=0$   
よって  $x-1=0$  または  $x-5=0$   
したがって  $x=1$  または  $x=5$   
答  $x=1, 5$
- (4) 左辺を因数分解すると  $(x+12)(x-3)=0$   
よって  $x+12=0$  または  $x-3=0$   
したがって  $x=-12$  または  $x=3$   
答  $x=-12, 3$
- (5) 左辺を因数分解すると  $(x+2)(x-10)=0$   
よって  $x+2=0$  または  $x-10=0$   
したがって  $x=-2$  または  $x=10$   
答  $x=-2, 10$
- (6) 左辺を因数分解すると  $(x+7)^2=0$   
よって  $x+7=0$   
したがって  $x=-7$
- (7) 左辺を因数分解すると  $(2x-3)^2=0$   
よって  $2x-3=0$   
したがって  $x=\frac{3}{2}$
- (8) 左辺を因数分解すると  $(2x+3)(3x-2)=0$   
よって  $2x+3=0$  または  $3x-2=0$   
したがって  $x=-\frac{3}{2}$  または  $x=\frac{2}{3}$   
答  $x=-\frac{3}{2}, \frac{2}{3}$
- (9) 左辺を因数分解すると  $(3x+2)(4x-5)=0$   
よって  $3x+2=0$  または  $4x-5=0$   
したがって  $x=-\frac{2}{3}$  または  $x=\frac{5}{4}$   
答  $x=-\frac{2}{3}, \frac{5}{4}$
- (10) 両辺を3で割ると  
 $x^2-7x-18=0$   
左辺を因数分解すると  $(x+2)(x-9)=0$   
よって  $x+2=0$  または  $x-9=0$   
したがって  $x=1, 5$  答

6

解説

- (1)  $2x^2+7x+1=0$   
$$x = \frac{-7 \pm \sqrt{7^2 - 4 \times 2 \times 1}}{2 \times 2} = \frac{-7 \pm \sqrt{41}}{4}$$
- (2)  $7x^2-3x-1=0$   
$$x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 7 \times (-1)}}{2 \times 7} = \frac{3 \pm \sqrt{37}}{14}$$
- (3)  $3x^2-5x-4=0$   
$$x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 3 \times (-4)}}{2 \times 3} = \frac{5 \pm \sqrt{73}}{6}$$
- (4)  $4x^2-7x+1=0$   
$$x = \frac{-(-7) \pm \sqrt{(-7)^2 - 4 \times 4 \times 1}}{2 \times 4} = \frac{7 \pm \sqrt{33}}{8}$$
- (5)  $6x^2+3x-4=0$   
$$x = \frac{-3 \pm \sqrt{3^2 - 4 \times 6 \times (-4)}}{2 \times 6} = \frac{-3 \pm \sqrt{105}}{12}$$
- (6)  $x^2+5x+2=0$   
$$x = \frac{-5 \pm \sqrt{5^2 - 4 \times 1 \times 2}}{2 \times 1} = \frac{-5 \pm \sqrt{17}}{2}$$
- (7)  $2x^2+2x-1=0$   
$$x = \frac{-2 \pm \sqrt{2^2 - 4 \times 2 \times (-1)}}{2 \times 2} = \frac{-2 \pm \sqrt{12}}{4} = \frac{-2 \pm 2\sqrt{3}}{4} = \frac{-1 \pm \sqrt{3}}{2}$$
- (8)  $x^2-6x-5=0$   
$$x = \frac{-(-6) \pm \sqrt{(-6)^2 - 4 \times 1 \times (-5)}}{2 \times 1} = \frac{6 \pm \sqrt{56}}{2} = \frac{6 \pm 2\sqrt{14}}{2} = 3 \pm \sqrt{14}$$
- (9)  $3x^2+4x-6=0$   
$$x = \frac{-4 \pm \sqrt{4^2 - 4 \times 3 \times (-6)}}{2 \times 3} = \frac{-4 \pm \sqrt{88}}{6} = \frac{-4 \pm 2\sqrt{22}}{6} = \frac{-2 \pm \sqrt{22}}{3}$$
- (10) 両辺に-1を掛けて  $2x^2-5x-1=0$   
よって  $x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \cdot 2 \cdot (-1)}}{2 \cdot 2} = \frac{5 \pm \sqrt{33}}{4}$
- (11) 両辺に-1を掛けて  $x^2+x-11=0$   
よって  $x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \cdot 1 \cdot (-11)}}{2 \cdot 1} = \frac{-1 \pm \sqrt{45}}{2} = \frac{-1 \pm 3\sqrt{5}}{2}$

【参考】(5), (7), (8), (9) は  $ax^2+2b'x+c=0$  の解の公式  $x = \frac{-b' \pm \sqrt{b'^2 - ac}}{a}$

を用いて、解くこともできる。

7

解説

- (1)  $x^2+2x-15=0$   
左辺を因数分解すると  
 $(x+5)(x-3)=0$   
よって  $x=-5, 3$
- (2)  $x^2+7x+2=0$

解の公式により  $x = \frac{-7 \pm \sqrt{7^2 - 4 \times 1 \times 2}}{2 \times 1}$   
$$= \frac{-7 \pm \sqrt{41}}{2}$$

(3)  $x^2-12x-28=0$   
左辺を因数分解すると

$$(x+2)(x-14)=0$$

よって  $x=-2, 14$

(4)  $x^2+5x+1=0$

解の公式により  $x = \frac{-5 \pm \sqrt{5^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2 \times 1}$   
$$= \frac{-5 \pm \sqrt{21}}{2}$$

(5)  $x^2-8x+12=0$

左辺を因数分解して  
 $(x-2)(x-6)=0$

よって  $x=2, 6$

(6)  $5x^2-9x+3=0$

解の公式により  
$$x = \frac{-(-9) \pm \sqrt{(-9)^2 - 4 \times 5 \times 3}}{2 \times 5}$$
  
$$= \frac{9 \pm \sqrt{81 - 60}}{10}$$
  
$$= \frac{9 \pm \sqrt{21}}{10}$$

(7)  $x^2+5x+3=0$

解の公式により  $x = \frac{-5 \pm \sqrt{5^2 - 4 \times 1 \times 3}}{2 \times 1}$   
$$= \frac{-5 \pm \sqrt{13}}{2}$$

(8)  $x^2+15x+36=0$

左辺を因数分解すると  
 $(x+12)(x+3)=0$

よって  $x=-12, -3$

(9)  $3x^2+5x-2=0$

左辺を因数分解すると  
 $(x+2)(3x-1)=0$

よって  $x=-2, \frac{1}{3}$

(10)  $3x^2-5x+1=0$

解の公式により  
$$x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 3 \times 1}}{2 \times 3} = \frac{5 \pm \sqrt{13}}{6}$$

(11)  $x^2-5x+6=0$

左辺を因数分解すると  
 $(x-2)(x-3)=0$

よって  $x=2, 3$

(12)  $6x^2 - 5x - 6 = 0$   
 左辺を因数分解すると  $(2x-3)(3x+2) = 0$   
 よって  $x = \frac{3}{2}, -\frac{2}{3}$

(13)  $x^2 - 5x + 2 = 0$   
 解の公式により  $x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 1 \times 2}}{2 \times 1}$   
 $= \frac{5 \pm \sqrt{17}}{2}$

(14)  $x^2 - 4x - 12 = 0$   
 左辺を因数分解して  $(x+2)(x-6) = 0$   
 よって  $x = -2, 6$

(15)  $2x^2 - 7x + 1 = 0$   
 解の公式により  $x = \frac{-(-7) \pm \sqrt{(-7)^2 - 4 \times 2 \times 1}}{2 \times 2}$   
 $= \frac{7 \pm \sqrt{41}}{4}$

8

解説

(1)  $(x-2)^2 - 2(x-1)(x+3) = 1$  を整理すると  
 $x^2 + 8x - 9 = 0$   
 $(x-1)(x+9) = 0$   
 よって  $x = 1, -9$

(2)  $(x+4)(x+6) = -x(3x+10)$  を整理すると  
 $4x^2 + 20x + 24 = 0$   
 $x^2 + 5x + 6 = 0$   
 $(x+2)(x+3) = 0$   
 よって  $x = -2, -3$

(3)  $(2x-3)(5x+6) - (3x+4)(3x-4) = 0$  を整理すると  
 $x^2 - 3x - 2 = 0$   
 よって  $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times (-2)}}{2 \times 1} = \frac{3 \pm \sqrt{17}}{2}$

(4)  $2x(x+1) - 7 = (x+3)(3x-1)$  を整理すると  
 $x^2 + 6x + 4 = 0$   
 よって  $x = \frac{-3 \pm \sqrt{3^2 - 1 \times 4}}{1} = -3 \pm \sqrt{5}$

(5)  $3x + 1 = \frac{1}{4}(x-4)^2$   
 両辺に 4 をかけて整理すると  $x^2 - 20x + 12 = 0$   
 よって  $x = \frac{-(-10) \pm \sqrt{(-10)^2 - 1 \times 12}}{1}$   
 $= 10 \pm \sqrt{88} = 10 \pm 2\sqrt{22}$

(6)  $\frac{x(x+1)}{3} = x^2 - 1$   
 両辺に 3 をかけて整理すると  $2x^2 - x - 3 = 0$

$(x+1)(2x-3) = 0$   
 よって  $x = -1, \frac{3}{2}$

9

解説

(1)  $x^4 - 6x^2 + 8 = 0$   
 $x^2 = t$  とおくと、方程式は次のようになる。  
 $t^2 - 6t + 8 = 0$   
 $(t-2)(t-4) = 0$

よって  $t = 2, 4$   
 すなわち  $x^2 = 2$  または  $x^2 = 4$   
 したがって  $x = \pm\sqrt{2}, \pm 2$

(2)  $3x^4 - 10x^2 + 8 = 0$   
 $x^2 = t$  とおくと、方程式は次のようになる。  
 $3t^2 - 10t + 8 = 0$   
 $(t-2)(3t-4) = 0$

よって  $t = 2, \frac{4}{3}$   
 すなわち  $x^2 = 2$  または  $x^2 = \frac{4}{3}$

したがって  $x = \pm\sqrt{2}, \pm \frac{2\sqrt{3}}{3}$

(3)  $(x^2 + 3x)^2 - 26(x^2 + 3x) - 56 = 0$   
 $x^2 + 3x = t$  とおくと、方程式は次のようになる。  
 $t^2 - 26t - 56 = 0$   
 $(t+2)(t-28) = 0$

よって  $t = -2, 28$   
 すなわち  $x^2 + 3x = -2$  または  $x^2 + 3x = 28$   
 $x^2 + 3x = -2$  より  $x^2 + 3x + 2 = 0$   
 $(x+1)(x+2) = 0$

よって  $x = -1, -2$   
 $x^2 + 3x = 28$  より  $x^2 + 3x - 28 = 0$   
 $(x-4)(x+7) = 0$

よって  $x = 4, -7$   
 したがって  $x = -7, -2, -1, 4$

(4)  $(x^2 + 6x)^2 + 18(x^2 + 6x) + 81 = 0$   
 $x^2 + 6x = t$  とおくと、方程式は次のようになる。  
 $t^2 + 18t + 81 = 0$   
 $(t+9)^2 = 0$

よって  $t = -9$   
 すなわち  $x^2 + 6x = -9$   
 $(x+3)^2 = 0$

したがって  $x = -3$

10

解説

(1)  $x^2 + 5x + 7 = 0$  について、判別式を  $D$  とすると  
 $D = 5^2 - 4 \cdot 1 \cdot 7 = -3 < 0$

よって、実数解の個数は 0 個

(2)  $9x^2 - 12x + 4 = 0$  について、判別式を  $D$  とすると  
 $D = (-12)^2 - 4 \cdot 9 \cdot 4 = 0$

よって、実数解の個数は 1 個

(3)  $3x^2 - 7x + 2 = 0$  について、判別式を  $D$  とすると  
 $D = (-7)^2 - 4 \cdot 3 \cdot 2 = 25 > 0$

よって、実数解の個数は 2 個

(4)  $2x^2 - 3x - 8 = 0$  について、判別式を  $D$  とすると  
 $D = (-3)^2 - 4 \cdot 2 \cdot (-8) = 73 > 0$

よって、実数解の個数は 2 個

(5)  $\frac{1}{9}x^2 + 2x + 9 = 0$  について、判別式を  $D$  とすると

$D = 2^2 - 4 \cdot \frac{1}{9} \cdot 9 = 0$

よって、実数解の個数は 1 個

(6)  $5x^2 - 3\sqrt{2}x + 1 = 0$  について、判別式を  $D$  とすると  
 $D = (-3\sqrt{2})^2 - 4 \cdot 5 \cdot 1 = -2 < 0$

よって、実数解の個数は 0 個

11

解説

(1) この 2 次方程式の判別式を  $D$  とすると

$D = 6^2 - 4 \cdot 1 \cdot m = -4m + 25$

2 次方程式が異なる 2 つの実数解をもつのは  $D > 0$  のときであるから  
 $-4m + 25 > 0$

これを解いて  $m < \frac{25}{4}$

(2) この 2 次方程式の判別式を  $D$  とすると

$D = (-3)^2 - 4 \cdot 2 \cdot (m-1) = -8m + 17$

2 次方程式が実数解をもたないのは  $D < 0$  のときであるから  
 $-8m + 17 < 0$

これを解いて  $m > \frac{17}{8}$

(3) この 2 次方程式の判別式を  $D$  とすると

$D = 6^2 - 4 \cdot 3 \cdot (2m-1) = -24m + 48$

2 次方程式が実数解をもつのは  $D \geq 0$  のときであるから  
 $-24m + 48 \geq 0$

これを解いて  $m \leq 2$

12

解説

解と係数の関係から  $\alpha + \beta = -6$ ,  $\alpha\beta = -3$ 

(1)  $\alpha^2\beta + \alpha\beta^2 = \alpha\beta(\alpha + \beta) = -3 \cdot (-6) = 18$

(2)  $\frac{1}{\alpha} + \frac{1}{\beta} = \frac{\alpha + \beta}{\alpha\beta} = \frac{-6}{-3} = 2$

(3)  $(\alpha + 1)(\beta + 1) = \alpha\beta + (\alpha + \beta) + 1 = -3 - 6 + 1 = -8$

(4)  $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = (-6)^2 - 2 \cdot (-3) = 42$

(5)  $(\alpha - \beta)^2 = \alpha^2 + \beta^2 - 2\alpha\beta = 42 - 2 \cdot (-3) = 48$

13

解説

もとの自然数を  $x$  とおく。 $x$  から 4 をひいた数の 2 乗が,  $x$  に 3 を

たして 10 倍した数よりも 5 大きいから

$$(x - 4)^2 = 10(x + 3) + 5$$

$$x^2 - 8x + 16 = 10x + 35$$

$$x^2 - 18x - 19 = 0$$

$$(x + 1)(x - 19) = 0$$

よって  $x = -1, 19$  $x$  は自然数であるから,  $x = -1$  は,

この問題には適さない。

 $x = 19$  は, 問題に適している。 答  $19$ 

14

解説

(1)  $\triangle OAB$  の面積は  $\frac{1}{2} \times 6 \times 3 = 9$

PA = PQ =  $6 - t$  であるから,  $\triangle PAQ$  の面積は

$$\frac{1}{2} \times (6 - t) \times (6 - t) = 18 - 6t + \frac{1}{2}t^2$$

よって  $S = 9 - \left(18 - 6t + \frac{1}{2}t^2\right) = -\frac{1}{2}t^2 + 6t - 9$

(2)  $-\frac{1}{2}t^2 + 6t - 9 = 7$

$$t^2 - 12t + 32 = 0$$

$$(t - 4)(t - 8) = 0$$

 $3 < t < 6$  であるから  $t = 4$  $t = 8$  は, この問題には適さない。 答  $t = 4$ 

15

解説

10% の食塩水 200 g の中に含まれる食塩の量は  $200 \times \frac{10}{100} = 20$  (g)1 回目の操作後の食塩の量は, 最初の食塩の量の  $\frac{200 - x}{200}$  倍であるから

$$20 \times \frac{200 - x}{200} = \frac{200 - x}{10}$$
 (g)

2 回目の操作後の食塩の量は

$$\frac{200 - x}{10} \times \frac{200 - x}{200} = \frac{(200 - x)^2}{2000}$$
 (g)

食塩水の濃度が 2.5% であるから  $\frac{(200 - x)^2}{2000} = 200 \times \frac{2.5}{100}$ 

$$(200 - x)^2 = 1000$$

$$200 - x = \pm 100$$

$$x = 100, 300$$

 $x < 200$  であるから,  $x = 300$  はこの問題には適さない。 $x = 100$  はこの問題に適している。 答  $x = 100$

第11章 2次方程式 レベルA

1

解説

(1)  $x^2 - x = 2(6 - x)$

かつこをはずして整理すると

$$x^2 - x = 12 - 2x$$

$$x^2 + x - 12 = 0$$

左辺を因数分解して

$$(x+4)(x-3) = 0$$

よって  $x = -4, 3$

(2)  $(x+4)(x-2) = 3x-2$

$$x^2 + 2x - 8 = 3x - 2$$

$$x^2 - x - 6 = 0$$

$$(x+2)(x-3) = 0$$

よって  $x = -2, 3$

(3)  $x(x-4) = 2x^2 - 5$

$$x^2 - 4x = 2x^2 - 5$$

$$x^2 + 4x - 5 = 0$$

$$(x-1)(x+5) = 0$$

$$x = 1, -5$$

(4)  $(x+4)(x-3) = 3(x+1)$

展開して整理すると

$$x^2 + x - 12 = 3x + 3$$

$$x^2 - 2x - 15 = 0$$

左辺を因数分解して

$$(x+3)(x-5) = 0$$

よって  $x = -3, 5$

(5)  $(x-2)^2 - 1 = 2(3-x)$

$$x^2 - 4x + 4 - 1 = 6 - 2x$$

$$x^2 - 2x - 3 = 0$$

$$(x+1)(x-3) = 0$$

よって  $x = -1, 3$

(6)  $x^2 + 10 + (x+4)(x-11) = (x+2)(x-2)$

$$x^2 + 10 + x^2 - 7x - 44 = x^2 - 4$$

$$x^2 - 7x - 30 = 0$$

$$(x+3)(x-10) = 0$$

よって  $x = -3, 10$

(7)  $(2x-1)(x-3) = -x^2 - x$

$$2x^2 - 6x - x + 3 = -x^2 - x$$

$$2x^2 - 7x + 3 = -x^2 - x$$

$$3x^2 - 6x + 3 = 0$$

$$x^2 - 2x + 1 = 0$$

$$(x-1)^2 = 0$$

$$x - 1 = 0$$

$$x = 1$$

(8)  $(x-1)(x-4) + (x-2)(x-1) + (x-3)(x+2) = 0$

$$x^2 - 5x + 4 + x^2 - 3x + 2 + x^2 - x - 6 = 0$$

$$3x^2 - 9x = 0$$

$$3x(x-3) = 0$$

よって

$$x = 0, 3$$

(9)  $(2x+1)^2 = 16 + 3x(x+2)$

$$4x^2 + 4x + 1 = 16 + 3x^2 + 6x$$

$$x^2 - 2x - 15 = 0$$

$$(x+3)(x-5) = 0$$

$$x = -3, 5$$

(10)  $\frac{(x+2)(x+4)}{3} = \frac{x(x-1)}{2}$

$$2(x+2)(x+4) = 3x(x-1)$$

$$2(x^2 + 6x + 8) = 3x^2 - 3x$$

$$-x^2 + 15x + 16 = 0$$

$$x^2 - 15x - 16 = 0$$

$$(x+1)(x-16) = 0$$

よって  $x = -1, 16$

(11)  $\frac{1}{4}x(2x+3) = -3\left(\frac{1}{4}x-3\right)$

$$x(2x+3) = -3(x-12)$$

$$2x^2 + 3x = -3x + 36$$

$$2x^2 + 6x - 36 = 0$$

$$x^2 + 3x - 18 = 0$$

$$(x-3)(x+6) = 0$$

$$x = 3, -6$$

(12)  $\frac{x(x-3)}{2} = \frac{(x-2)(x-1)}{3} + 1$

$$3x(x-3) = 2(x-2)(x-1) + 6$$

$$x^2 - 3x - 10 = 0$$

$$(x+2)(x-5) = 0$$

したがって  $x = -2, 5$

2

解説

$$2x + 1 = x^2 + x$$

$$0 = x^2 - x - 1$$

$$x^2 - x - 1 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$$

$$= \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(x+2)^2 = 3x+5$$

展開して整理すると

$$x^2 + 4x + 4 = 3x + 5$$

$$x^2 + x - 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$

$$= \frac{-1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(3x+4)(x-2) = 6x-9$$

$$3x^2 - 6x + 4x - 8 = 6x - 9$$

$$3x^2 - 8x + 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 4 \times 3 \times 1}}{2 \times 3} = \frac{8 \pm 2\sqrt{13}}{6}$

$$= \frac{4 \pm \sqrt{13}}{3}$$

$$2(x+1)(x-2) = 3x-3$$

展開して整理すると

$$2(x^2 - x - 2) = 3x - 3$$

$$2x^2 - 2x - 4 = 3x - 3$$

$$2x^2 - 5x - 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 2 \times (-1)}}{2 \times 2}$

$$= \frac{5 \pm \sqrt{33}}{4}$$

$$(3x-1)(x-2) - 3(1-2x) = 0$$

$$3x^2 - 6x - x + 2 - 3 + 6x = 0$$

$$3x^2 - x - 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 3 \times (-1)}}{2 \times 3}$

$$= \frac{1 \pm \sqrt{13}}{6}$$

$$2(x^2 + 1) - x = (x + 1)^2$$

展開して整理すると

$$2x^2 + 2 - x = x^2 + 2x + 1$$

$$x^2 - 3x + 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2 \times 1}$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$2(x-1) = (x-3)^2 + 3$$

$$2x - 2 = x^2 - 6x + 9 + 3$$

$$x^2 - 8x + 14 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 4 \times 1 \times 14}}{2 \times 1}$$

$$= 4 \pm \sqrt{2}$$

$$3(x+1)(x-4) - (x-3)^2 = -20$$

$$3(x^2 - 3x - 4) - (x^2 - 6x + 9) = -20$$

$$3x^2 - 9x - 12 - x^2 + 6x - 9 = -20$$

$$2x^2 - 3x - 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 2 \times (-1)}}{2 \times 2}$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{17}}{4}$$

$$\frac{2x^2 - x + 2}{3} = \frac{3x^2 + 2}{4}$$

両辺に 12 をかけて

$$4(2x^2 - x + 2) = 3(3x^2 + 2)$$

$$8x^2 - 4x + 8 = 9x^2 + 6$$

$$x^2 + 4x - 2 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-4 \pm \sqrt{4^2 - 4 \times 1 \times (-2)}}{2 \times 1}$

$$= \frac{-4 \pm 2\sqrt{6}}{2}$$

$$= -2 \pm \sqrt{6}$$

$$\frac{x^2 - x}{2} - \frac{2x + 3}{6} = \frac{x^2 - 4}{3}$$

両辺に 6 をかけると

$$3(x^2 - x) - (2x + 3) = 2(x^2 - 4)$$

$$3x^2 - 3x - 2x - 3 = 2x^2 - 8$$

$$x^2 - 5x + 5 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-5) \pm \sqrt{(-5)^2 - 4 \times 1 \times 5}}{2 \times 1}$$

$$= \frac{5 \pm \sqrt{5}}{2}$$

3

解説

(1)  $x^2 = 144$

$$x = \pm 12$$

(2)  $3x^2 = 108$

$$x^2 = 36$$

$$x = \pm 6$$

(3)  $t^2 - 4t - 21 = 0$

$$(t + 3)(t - 7) = 0$$

$$t = -3, 7$$

(4)  $4x^2 - 39x + 27 = 0$

$$(x - 9)(4x - 3) = 0$$

$$x = 9, \frac{3}{4}$$

(5)  $3x^2 - 24x + 45 = 0$

$$x^2 - 8x + 15 = 0$$

$$(x - 3)(x - 5) = 0$$

$$x = 3, 5$$

(6)  $x^2 + 9 = -6x$

$$x^2 + 6x + 9 = 0$$

$$(x + 3)^2 = 0$$

$$x = -3$$

(7)  $(x - 3)^2 = 100$

$$x - 3 = \pm 10$$

$$x = 13, -7$$

(8)  $(2p + 5)^2 = 16$

$$2p + 5 = \pm 4$$

$$2p = -1, -9$$

$$p = -\frac{1}{2}, -\frac{9}{2}$$

(9)  $-x^2 + 3x - 1 = 0$

$$x^2 - 3x + 1 = 0$$

$$x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2 \times 1} = \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

(10)  $x^2 + 5x + 2 = 0$

$$x = \frac{-5 \pm \sqrt{5^2 - 4 \times 1 \times 2}}{2 \times 1} = \frac{-5 \pm \sqrt{17}}{2}$$

(11)  $a^2 + 4a - 1 = 0$

$$a = \frac{-2 \pm \sqrt{2^2 - 1 \times (-1)}}{1} = -2 \pm \sqrt{5}$$

(12)  $2x^2 - 14x - 49 = 0$

$$x = \frac{-(-7) \pm \sqrt{(-7)^2 - 2 \times (-49)}}{2} = \frac{7 \pm \sqrt{49 \times 3}}{2} = \frac{7 \pm 7\sqrt{3}}{2}$$

(13)  $(x + 4)(x - 4) = 6x$

$$x^2 - 16 = 6x$$

$$x^2 - 6x - 16 = 0$$

$$(x + 2)(x - 8) = 0$$

$$x = -2, 8$$

(14)  $x(x - 4) = 12 - 5x$

$$x^2 - 4x = 12 - 5x$$

$$x^2 + x - 12 = 0$$

$$(x - 3)(x + 4) = 0$$

$$x = 3, -4$$

(15)  $x(3x + 2) = x^2 - 4x$

$$3x^2 + 2x = x^2 - 4x$$

$$2x^2 + 6x = 0$$

$$x^2 + 3x = 0$$

$$x(x + 3) = 0$$

$$x = 0, -3$$

(16)  $3(x + 1)(x - 2) = 2(x^2 - 2)$

$$3(x^2 - x - 2) = 2x^2 - 4$$

$$x^2 - 3x - 2 = 0$$

$$x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times (-2)}}{2 \times 1} = \frac{3 \pm \sqrt{17}}{2}$$



4

解説

$$(1) \quad x^2 - 14 = 5x$$

$$x^2 - 5x - 14 = 0$$

左辺を因数分解して

$$(x+2)(x-7)=0$$

よって  $x = -2, 7$

$$(2) \quad (x-3)^2 = x$$

展開して整理すると

$$x^2 - 6x + 9 = x$$

$$x^2 - 7x + 9 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-7) \pm \sqrt{(-7)^2 - 4 \times 1 \times 9}}{2 \times 1}$

$$= \frac{7 \pm \sqrt{13}}{2}$$

$$(3) \quad x^2 - x = 2(6-x)$$

かつこをはずして整理すると

$$x^2 - x = 12 - 2x$$

$$x^2 + x - 12 = 0$$

左辺を因数分解して

$$(x+4)(x-3)=0$$

よって  $x = -4, 3$

$$(4) \quad (x+2)^2 = 3x+5$$

展開して整理すると

$$x^2 + 4x + 4 = 3x + 5$$

$$x^2 + x - 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$

$$= \frac{-1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(5) \quad x^2 - x = 7(x-1)$$

$$x^2 - x = 7x - 7$$

$$x^2 - 8x + 7 = 0$$

$$(x-1)(x-7) = 0$$

$$x = 1, 7$$

$$(6) \quad 2x+1 = x^2+x$$

$$0 = x^2 - x - 1$$

$$x^2 - x - 1 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$$

$$= \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(7) \quad (x-2)^2 - 1 = 2(3-x)$$

$$x^2 - 4x + 4 - 1 = 6 - 2x$$

$$x^2 - 2x - 3 = 0$$

$$(x+1)(x-3) = 0$$

よって  $x = -1, 3$

$$(8) \quad (x+3)(x-2) = 2x$$

展開して整理すると

$$x^2 + x - 6 = 2x$$

$$x^2 - x - 6 = 0$$

$$(x+2)(x-3) = 0$$

よって  $x = -2, 3$

$$(9) \quad (3x-1)(x-2) - 3(1-2x) = 0$$

$$3x^2 - 6x - x + 2 - 3 + 6x = 0$$

$$3x^2 - x - 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 3 \times (-1)}}{2 \times 3}$

$$= \frac{1 \pm \sqrt{13}}{6}$$

$$(10) \quad (x-3)(x+4) = 2(x-3)^2$$

$$x^2 + x - 12 = 2(x^2 - 6x + 9)$$

$$x^2 + x - 12 = 2x^2 - 12x + 18$$

$$x^2 - 13x + 30 = 0$$

$$(x-3)(x-10) = 0$$

$$x = 3, 10$$

$$(11) \quad 2(x^2+1) - x = (x+1)^2$$

展開して整理すると

$$2x^2 + 2 - x = x^2 + 2x + 1$$

$$x^2 - 3x + 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2 \times 1}$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(12) \quad (x+1)^2 = x+7$$

$$x^2 + 2x + 1 = x + 7$$

$$x^2 + x - 6 = 0$$

$$(x-2)(x+3) = 0$$

$$x = 2, -3$$

$$(13) \quad (3x+4)(x-2) = 6x-9$$

$$3x^2 - 6x + 4x - 8 = 6x - 9$$

$$3x^2 - 8x + 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 4 \times 3 \times 1}}{2 \times 3} = \frac{8 \pm 2\sqrt{13}}{6}$

$$= \frac{4 \pm \sqrt{13}}{3}$$

$$(14) \quad 2(x-1) = (x-3)^2 + 3$$

$$2x - 2 = x^2 - 6x + 9 + 3$$

$$x^2 - 8x + 14 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-8) \pm \sqrt{(-8)^2 - 4 \times 1 \times 14}}{2 \times 1}$$

$$= 4 \pm \sqrt{2}$$

$$(15) \quad (2x+1)^2 - 2(x^2-3) - 6 = 0$$

$$4x^2 + 4x + 1 - 2x^2 + 6 - 6 = 0$$

$$2x^2 + 4x + 1 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-4 \pm \sqrt{4^2 - 4 \times 2 \times 1}}{2 \times 2}$

$$= \frac{-4 \pm \sqrt{8}}{4}$$

$$= \frac{-4 \pm 2\sqrt{2}}{4}$$

$$= \frac{-2 \pm \sqrt{2}}{2}$$

$$(16) \quad x^2 + 10 + (x+4)(x-11) = (x+2)(x-2)$$

$$x^2 + 10 + x^2 - 7x - 44 = x^2 - 4$$

$$x^2 - 7x - 30 = 0$$

$$(x+3)(x-10) = 0$$

よって  $x = -3, 10$

$$(17) \quad (x+4)(x-2) = 3x-2$$

$$x^2 + 2x - 8 = 3x - 2$$

$$x^2 - x - 6 = 0$$

$$(x+2)(x-3) = 0$$

よって  $x = -2, 3$

$$(18) \quad x(x-4) = 2x^2 - 5$$

$$x^2 - 4x = 2x^2 - 5$$

$$x^2 + 4x - 5 = 0$$

$$(x-1)(x+5) = 0$$

$$x = 1, -5$$

5

解説

$$(1) \quad (x-2)(x-4)=(2x-3)^2$$

$$x^2-6x+8=4x^2-12x+9$$

整理すると  $3x^2-6x+1=0$

よって  $x=\frac{-(-3)\pm\sqrt{(-3)^2-3\times 1}}{3}=\frac{3\pm\sqrt{6}}{3}$

$$(2) \quad 3x^2-(x-1)(x+5)=(2x+3)^2$$

$$3x^2-(x^2+4x-5)=4x^2+12x+9$$

整理すると  $x^2+8x+2=0$

よって  $x=\frac{-4\pm\sqrt{4^2-1\times 2}}{1}=-4\pm\sqrt{14}$

$$(3) \quad \left(\frac{x-2}{2}\right)^2-\frac{5}{4}=\frac{x+3}{2}$$

$$\frac{x^2-4x+4}{4}-\frac{5}{4}=\frac{x+3}{2}$$

両辺に4をかけて  $x^2-4x+4-5=2(x+3)$

整理すると  $x^2-6x-7=0$

左辺を因数分解すると  $(x+1)(x-7)=0$

よって  $x=-1, 7$

$$(4) \quad 4.5x^2-2.25x-0.25=0$$

両辺に4をかけて  $18x^2-9x-1=0$

よって  $x=\frac{-(-9)\pm\sqrt{(-9)^2-4\times 18\times(-1)}}{2\times 18}=\frac{9\pm\sqrt{153}}{36}$

$$=\frac{9\pm 3\sqrt{17}}{36}=\frac{3\pm\sqrt{17}}{12}$$

$$(5) \quad (5x-1)(x+2)=(x+3)(x+7)-20$$

$$5x^2+9x-2=x^2+10x+21-20$$

整理すると  $4x^2-x-3=0$

左辺を因数分解すると  $(x-1)(4x+3)=0$

よって  $x=1, -\frac{3}{4}$

6

解説

$$(1) \quad 2(x^2+2)-(x-3)(x-4)=0$$
 を整理すると  $x^2+7x-8=0$ 

$$(x-1)(x+8)=0$$

よって  $x=1, -8$

$$(2) \quad (x-4)(2x+3)=5x(x-4)$$
 より
$$(x-4)((2x+3)-5x)=0$$

$$(x-4)(-3x+3)=0$$

$$-3(x-4)(x-1)=0$$

$$(x-4)(x-1)=0$$

よって  $x=4, 1$

$$(3) \quad (2x-3)(5x+6)-(3x+4)(3x-4)=0$$
 を整理すると  $x^2-3x-2=0$ 

よって  $x=\frac{-(-3)\pm\sqrt{(-3)^2-4\times 1\times(-2)}}{2\times 1}=\frac{3\pm\sqrt{17}}{2}$

$$(4) \quad (x+1)^2=3(x-1)^2$$
 を整理すると  $x^2-4x+1=0$ 

よって  $x=\frac{-(-2)\pm\sqrt{(-2)^2-1\times 1}}{1}=2\pm\sqrt{3}$

$$(5) \quad 2x+6=\frac{1}{3}(x-3)^2$$

両辺に3をかけて整理すると  $x^2-12x-9=0$

よって  $x=\frac{-(-6)\pm\sqrt{(-6)^2-1\times(-9)}}{1}=6\pm\sqrt{45}=6\pm 3\sqrt{5}$

$$(6) \quad \frac{x(x+1)}{3}=x^2-1$$

両辺に3をかけて整理すると  $2x^2-x-3=0$

$$(x+1)(2x-3)=0$$

よって  $x=-1, \frac{3}{2}$

$$(7) \quad \frac{x^2-2}{2}-\frac{x^2-5x}{3}=3$$

両辺に6をかけて整理すると  $x^2+10x-24=0$

$$(x-2)(x+12)=0$$

よって  $x=2, -12$

$$(8) \quad \frac{1}{2}x(x-3)=3\left(\frac{1}{2}x+12\right)$$

両辺に2をかけて整理すると  $x^2-6x-72=0$

$$(x+6)(x-12)=0$$

よって  $x=-6, 12$

$$(9) \quad x^2-0.5x-0.75=0$$

両辺に4をかけて  $4x^2-2x-3=0$

よって  $x=\frac{-(-1)\pm\sqrt{(-1)^2-4\times(-3)}}{4}=\frac{1\pm\sqrt{13}}{4}$

$$(10) \quad 0.25(x+3)^2=0.125(x+2)+0.75$$

両辺に8をかけて  $2(x+3)^2=(x+2)+6$

整理すると  $2x^2+11x+10=0$

よって  $x=\frac{-11\pm\sqrt{11^2-4\times 2\times 10}}{2\times 2}=\frac{-11\pm\sqrt{41}}{4}$

7

解説

$$(1) \quad (x-10)^2-9(x-10)-22=0$$

$x-10=t$  とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2-9t-22=0$$

$$(t+2)(t-11)=0$$

よって  $t=-2, 11$

すなわち  $x-10=-2$  または  $x-10=11$

したがって  $x=8, 21$

$$(2) \quad (3x-2)^2-8(3x-2)+16=0$$

$3x-2=t$  とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2-8t+16=0$$

$$(t-4)^2=0$$

よって  $t=4$

すなわち  $3x-2=4$

したがって  $x=2$

$$(3) \quad 4\left(x+\frac{3}{8}\right)^2-\left(x+\frac{3}{8}\right)-1=0$$

$x+\frac{3}{8}=t$  とおくと、方程式は次のようになる。

$$4t^2-t-1=0$$

よって  $t=\frac{-(-1)\pm\sqrt{(-1)^2-4\times 4\times(-1)}}{2\times 4}=\frac{1\pm\sqrt{17}}{8}$

すなわち  $x+\frac{3}{8}=\frac{1\pm\sqrt{17}}{8}$

したがって  $x=\frac{-2\pm\sqrt{17}}{8}$

$$(4) \quad 2(x-\sqrt{3})^2-3(x-\sqrt{3})-2=0$$

$x-\sqrt{3}=t$  とおくと、方程式は次のようになる。

$$2t^2-3t-2=0$$

$$(t-2)(2t+1)=0$$

よって  $t=2, -\frac{1}{2}$

すなわち  $x-\sqrt{3}=2$  または  $x-\sqrt{3}=-\frac{1}{2}$

したがって  $x=2+\sqrt{3}, -\frac{1}{2}+\sqrt{3}$

$$(5) \quad (x^2-1)^2-3(x^2-1)+2=0$$

因数分解して  $\{(x^2-1)-1\}\{(x^2-1)-2\}=0$

すなわち  $(x^2-2)(x^2-3)=0$  よって  $x^2=2, 3$

ゆえに  $x=\pm\sqrt{2}, \pm\sqrt{3}$

$$(6) \quad (x^2+x-1)(x^2+x-4)=-2$$

展開して  $(x^2+x)^2-5(x^2+x)+4=-2$

すなわち  $(x^2+x)^2-5(x^2+x)+6=0$

左辺を因数分解すると

$$\{(x^2+x)-2\}\{(x^2+x)-3\}=0$$

よって  $(x-1)(x+2)(x^2+x-3)=0$

したがって

$$x-1=0 \text{ または } x+2=0 \text{ または } x^2+x-3=0$$

ゆえに  $x=1, -2, \frac{-1\pm\sqrt{13}}{2}$

8 [土浦日本大学附属]

解説

$x^2 - 2x + a = 0$  に  $x = 1 + \sqrt{2}$  を代入すると

$$(1 + \sqrt{2})^2 - 2(1 + \sqrt{2}) + a = 0$$

$$1 + 2\sqrt{2} + 2 - 2 - 2\sqrt{2} + a = 0$$

したがって  $a = -1$

よって、もとの式は

$$x^2 - 2x - 1 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1}$$

$$= 1 \pm \sqrt{2}$$

したがって、もう1つの解は  $1 - \sqrt{2}$

9 [札幌大]

解説

$x^2 + mx - m + 8 = 0$  …… ① とする。

(1)  $m = 5$  のとき、①は  $x^2 + 5x + 3 = 0$

$$\text{これを解くと } x = \frac{-5 \pm \sqrt{13}}{2}$$

(2) ①の判別式を  $D$  とすると

$$D = m^2 - 4 \cdot 1 \cdot (-m + 8) = m^2 + 4m - 32 = (m + 8)(m - 4)$$

①が重解をもつとき、 $D = 0$  であるから  $m = -8, 4$

$m > 0$  であるから  $m = 4$

このとき、①は  $x^2 + 4x + 4 = 0$  よって、求める重解は  $x = -2$

(3) ①が2つの異なる実数解をもつ条件は  $D > 0$

よって  $(m + 8)(m - 4) > 0$  ゆえに  $m < -8, 4 < m$

(4) 解の1つが2であるとき、①に  $x = 2$  を代入すると

$$2^2 + 2m - m + 8 = 0 \quad \text{よって } m = -12$$

このとき、①は  $x^2 - 12x + 20 = 0$

よって  $(x - 2)(x - 10) = 0$

したがって、もう1つの解は  $x = 10$

10

解説

(1), (2) 解と係数の関係から  $\alpha + \beta = 1, \alpha\beta = -1$

(3)  $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = 1^2 - 2 \cdot (-1) = 3$

(4)  $(\alpha - 2\beta)(\beta - 2\alpha) = \alpha\beta - 2\alpha^2 - 2\beta^2 + 4\alpha\beta = 5\alpha\beta - 2(\alpha^2 + \beta^2) = 5 \cdot (-1) - 2 \cdot 3 = -11$

11 [熊本県]

解説

方程式は  $(x + 3)^2 - 21 = 10x$

これを解くと

$$x^2 + 6x + 9 - 21 = 10x$$

$$x^2 - 4x - 12 = 0$$

$$(x + 2)(x - 6) = 0$$

よって  $x = -2, 6$

12 [帝塚山泉ヶ丘]

解説

ある正の数を  $x$  とすると

$$2x + 2 = (x^2 - 2) - 1$$

整理して解くと

$$2x + 2 = x^2 - 3$$

$$x^2 - 2x - 5 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 4 \times 1 \times (-5)}}{2 \times 1} = \frac{2 \pm 2\sqrt{6}}{2}$

$$= 1 \pm \sqrt{6}$$

$x$  は正の数であるから、 $x = 1 + \sqrt{6}$  は問題に適するが、 $x = 1 - \sqrt{6}$  は問題に適さない。

よって、求める正の数は  $1 + \sqrt{6}$

13 [大阪経済大]

解説

連続する5つの正の奇数を

$$2n + 1, 2n + 3, 2n + 5, 2n + 7, 2n + 9 \quad (n \text{ は } 0 \text{ 以上の整数})$$

とする。

条件から  $(2n + 1)(2n + 9) = (2n + 3) + (2n + 5) + (2n + 7) \times 3 + 6$

両辺を展開して整理すると  $4n^2 + 20n + 9 = 18n + 51$

よって  $2n^2 + n - 21 = 0$  すなわち  $(n - 3)(2n + 7) = 0$

$n$  は0以上の整数であるから  $n = 3$

したがって、最も大きい数は  $2 \cdot 3 + 9 = 15$

14 [鹿児島県]

解説

$$x \times x - 1 \times 3x = 3$$

$$x^2 - 3x = 3$$

$$x^2 - 3x - 3 = 0$$

解の公式により  $x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times (-3)}}{2 \times 1}$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{21}}{2}$$

15 [大阪教育大学附属池田]

解説

(1)  $3 * (-2) = [3 + (-2)]^2 - 2 \times 3 + (-2)$

$$= 1 - 6 - 2$$

$$= -7$$

(2)  $2 * x = (2 + x)^2 - 2 \times 2 + x$

$$= x^2 + 4x + 4 - 4 + x$$

$$= x^2 + 5x$$

よって  $2 * x = 6$

$$x^2 + 5x = 6$$

$$x^2 + 5x - 6 = 0$$

$$(x - 1)(x + 6) = 0$$

$x = 1, -6$

16

解説

もとの長方形の縦の長さを  $x$  cm とすると

$$(x - 8) \times [(x + 5) - 8] \times 4 = 144$$

$$x^2 - 11x - 12 = 0$$

$$(x + 1)(x - 12) = 0$$

$x > 8$  であるから  $x = 12$

$x = -1$  は、この問題には適さない。

よって、横の長さは  $x + 5 = 12 + 5 = 17$  (cm)

17

解説

道路の幅を  $x$  m とする。

右の図のように、道路を端によせて考えても、

空き地の面積は変わらない。

よって、空き地の面積は

$$(15 - x) \times (28 - x) \text{ m}^2$$

したがって  $(15 - x)(28 - x) = 300$

$$420 - 43x + x^2 = 300$$

$$x^2 - 43x + 120 = 0$$

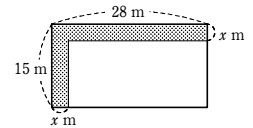
$$(x - 3)(x - 40) = 0$$

これを解いて  $x = 3, 40$

道路の幅は15 m 以上にならないから、 $x = 40$  はこの問題には適さない。

$x = 3$  は問題に適する。

☞ 3 m



18 [三重県]

解説

BC = x cm とおくと、EC = (x-1) cm と表せる。

よって、長方形 ABCD の面積は

$$1 \times x = x \text{ (cm}^2\text{)}$$

正方形 ECFG の面積は

$$(x-1)^2 \text{ cm}^2$$

と表せる。

長方形と正方形の面積は等しいので

$$(x-1)^2 = x$$

$$x^2 - 2x + 1 = x$$

$$x^2 - 3x + 1 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2 - 4 \times 1 \times 1}}{2}$$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{9-4}}{2}$$

$$= \frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$$

EC = x-1 で x > 1 でなければいけないから

$$x = \frac{3 + \sqrt{5}}{2}$$

よって、BC は  $\frac{3 + \sqrt{5}}{2}$  (cm) である。

19

解説

(1) 五角形の内角の和は  $180^\circ \times (5-2) = 540^\circ$

五角形 ABCDE は正五角形であるから

$$\angle ABC = 540^\circ \div 5 = 108^\circ$$

AB = BC より、△ABC は二等辺三角形である。

よって  $\angle BAC = \angle BCA$

したがって  $\angle BCA = (180^\circ - \angle ABC) \div 2$

$$= (180^\circ - 108^\circ) \div 2$$

$$= 36^\circ$$

同様に  $\angle CBP = 36^\circ$

よって  $\angle APB = \angle BCA + \angle CBP = 72^\circ$

(2)  $\angle BAC = \angle BCA = 36^\circ$ ,  $\angle PCB = \angle PBC = 36^\circ$

であるから  $\triangle ABC \sim \triangle PCB$

よって  $AB : CP = AC : CB$  …… ①

また、(1) より  $\angle ABC = 108^\circ$ ,  $\angle CBP = 36^\circ$

であるから  $\angle ABP = 108^\circ - 36^\circ = 72^\circ$

よって  $\angle ABP = \angle APB$

したがって、△ABP は二等辺三角形であるから

$$AB = AP \quad \dots\dots \text{②}$$

対角線 AC の長さを x cm とする。

② より  $CP = AC - AP = AC - AB = x - 1$  (cm)

よって、① より  $1 : (x-1) = x : 1$

$$x(x-1) = 1 \times 1$$

$$x^2 - x - 1 = 0$$

これを解いて  $x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1} = \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$

x > 0 であるから  $x = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$

$x = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$  は、この問題には適さない。

$$\text{答 } \frac{1 + \sqrt{5}}{2} \text{ cm}$$

20

解説

(1) 点 B の x 座標が 2 であるから、点 A の x 座標も 2 である。

このとき、A の y 座標は 2a + 2

また、BC = AB = 2a + 2 であるから、点 C の x 座標は

$$2 + (2a + 2) = 2a + 4$$

したがって、点 E の x 座標も 2a + 4

(2) 点 E の y 座標は

$$a(2a + 4) + 2 = 2a^2 + 4a + 2$$

また、CG = EC = 2a^2 + 4a + 2 であるから、点 G の x 座標は

$$(2a + 4) + (2a^2 + 4a + 2) = 2a^2 + 6a + 6$$

点 G の x 座標が 42 であるから

$$2a^2 + 6a + 6 = 42$$

$$a^2 + 3a - 18 = 0$$

$$(a - 3)(a + 6) = 0$$

$$a = 3, -6$$

a は正の定数であるから a = 3

21

解説

(1) 直線 AB の傾きは  $\frac{0-1}{2-0} = -\frac{1}{2}$ , y 切片は 1

よって、直線 AB の式は  $y = -\frac{1}{2}x + 1$  答

(2)  $S = \frac{1}{2} \times PQ \times BQ$

$$= \frac{1}{2} \times p \times \left[ 1 - \left( -\frac{1}{2}p + 1 \right) \right] = \frac{1}{4}p^2$$

また、PR と OA の交点を N とすると

$$T = PR \times AN = OB \times AN$$

$$= 1 \times (2 - p) = 2 - p$$

S = T であるから  $\frac{1}{4}p^2 = 2 - p$

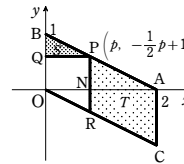
よって  $p^2 + 4p - 8 = 0$

これを解いて  $p = -2 \pm 2\sqrt{3}$

点 P は辺 AB 上にあるから  $0 < p < 2$

$p = -2 - 2\sqrt{3}$  は適さない。 $p = -2 + 2\sqrt{3}$  は適する。

$$\text{答 } p = -2 + 2\sqrt{3}$$



22

解説

(1)  $2x + 3 = 3x + a$  とすると  $x = 3 - a$

これを  $y = 2x + 3$  に代入すると  $y = 2(3 - a) + 3 = 9 - 2a$

よって、C の座標は  $(3 - a, 9 - 2a)$

(2) 点 C を通り x 軸に平行に引いた直線と y 軸の交点を H とすると

$$S = \frac{1}{2} \times AB \times CH$$

$$= \frac{1}{2} \times (3 - a) \times (3 - a)$$

$$= \frac{1}{2} (a - 3)^2$$

(3)  $S = 2$  のとき  $\frac{1}{2} (a - 3)^2 = 2$

$$(a - 3)^2 = 4$$

$$a - 3 = \pm 2$$

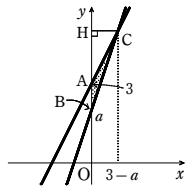
よって  $a - 3 = 2$  または  $a - 3 = -2$

すなわち  $a = 5, 1$

$a < 3$  であるから  $a = 1$

$a = 5$  は、この問題には適さない。

$$\text{答 } a = 1$$



23

解説

(1) 2 点 A, B を通る直線の式を  $y = mx + n$  とおく。

2 点 A, B の座標は、それぞれ (8, 0), (2, 6) であるから

$$0 = 8m + n, \quad 6 = 2m + n$$

よって  $m = -1, n = 8$

したがって、求める直線の式は  $y = -x + 8$

(2) 直線 OB を表す式は  $y = 3x$

点 F の x 座標は a であるから、F の y 座標は 3a

よって、点 E の y 座標は 3a となる。

E の x 座標は、 $3a = -x + 8$  を解いて  $x = 8 - 3a$

したがって、E の座標は  $(8 - 3a, 3a)$

(3) CD の長さは (D の x 座標) - (C の x 座標) となる。

また、(D の x 座標) = (E の x 座標) であるから

$$CD = (8 - 3a) - a = 8 - 4a$$

CF の長さは、F の y 座標であるから 3a

よって、長方形 CDEF の面積は  $3a(8 - 4a)$

したがって  $3a(8 - 4a) = 6$

$$2a^2 - 4a + 1 = 0$$

これを解いて  $a = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 2 \times 1}}{2} = \frac{2 \pm \sqrt{2}}{2}$

これらは、ともに問題に適している。

$$\text{答 } a = \frac{2 \pm \sqrt{2}}{2}$$

第11章 2次方程式 レベルB

24 [愛光]

解説

- (1) 食塩水を取り出した残りの食塩水の濃度は最初と変わらないから、残った食塩の量は

$$(100-x) \times \frac{10}{100} = 10 - \frac{x}{10} \text{ (g)}$$

- (2) 水を加えると、食塩水の濃度は

$$\left( \left( 10 - \frac{x}{10} \right) \div 100 \right) \times 100 = 10 - \frac{x}{10} \text{ (%)}$$

ここから  $2x$  g の食塩水を取り出すと、残った食塩水に含まれる食塩の量は

$$(100-2x) \times \left( 10 - \frac{x}{10} \right) \div 100 = \frac{2(50-x)(100-x)}{1000} \text{ (g)}$$

これが 100 g の 4.8 % にあたるから

$$100 \times \frac{4.8}{100} = \frac{2(50-x)(100-x)}{1000}$$

$$2(50-x)(100-x) = 4800$$

$$(x-50)(x-100) = 2400$$

$$x^2 - 150x + 5000 = 2400$$

$$x^2 - 150x + 2600 = 0$$

$$(x-20)(x-130) = 0$$

$$x = 20, 130$$

$x < 100$  より  $x = 20$

25 [京都府]

解説

- (1)  $n$  番目の図形のタイル A の枚数とタイル B の枚数は、次の表のようになる。

$n$ (番目)	1	2	3	4	5	...
タイル A (枚)	1	1	$3^2$	$3^2$	$5^2$	...
タイル B (枚)	0	$2^2$	$2^2$	$4^2$	$4^2$	...

6 番目の図形について、タイル B の枚数は

$$6^2 = 36 \text{ (枚)}$$

また、 $n$  番目の図形について、タイル A とタイル B の枚数の合計は

$$\begin{aligned} n^2 + (n-1)^2 &= n^2 + n^2 - 2n + 1 \\ &= 2n^2 - 2n + 1 \text{ (枚)} \end{aligned}$$

- (2)  $n$  番目の図形のタイルの合計が 1861 枚になるとすると

$$2n^2 - 2n + 1 = 1861$$

$$2n^2 - 2n - 1860 = 0$$

$$n^2 - n - 930 = 0$$

$$(n-31)(n+30) = 0$$

$$n = 31, -30$$

$n > 0$  であるから  $n = 31$

よって 31 番目

1

解説

$$(1) x = \frac{-(-3\sqrt{5}) \pm \sqrt{(-3\sqrt{5})^2 - 4 \times 2 \times 4}}{2 \times 2} = \frac{3\sqrt{5} \pm \sqrt{45-32}}{4} = \frac{3\sqrt{5} \pm \sqrt{13}}{4}$$

$$(2) -x^2 - x + 3 = 0$$

両辺に  $-1$  をかけて  $x^2 + x - 3 = 0$

$$\text{よって } x = \frac{-1 \pm \sqrt{1^2 - 4 \times 1 \times (-3)}}{2 \times 1} = \frac{-1 \pm \sqrt{13}}{2}$$

$$(3) (2x+3)^2 = (x+3)^2$$

$$4x^2 + 12x + 9 = x^2 + 6x + 9$$

整理すると  $3x^2 + 6x = 0$

$$x^2 + 2x = 0$$

左辺を因数分解すると  $x(x+2) = 0$

よって  $x = 0, -2$

$$(4) 2(x-1)^2 = (x+3)(x-3) - 3(x-4)$$

$$2(x^2 - 2x + 1) = x^2 - 9 - 3x + 12$$

$$2x^2 - 4x + 2 = x^2 - 3x + 3$$

整理すると  $x^2 - x - 1 = 0$

$$\text{よって } x = \frac{-(-1) \pm \sqrt{(-1)^2 - 4 \times 1 \times (-1)}}{2 \times 1} = \frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$$

$$(5) (3x-5)^2 + 6(3x-7) = -14$$

$$9x^2 - 30x + 25 + 18x - 42 = -14$$

整理すると  $9x^2 - 12x - 3 = 0$

$$3x^2 - 4x - 1 = 0$$

$$\text{よって } x = \frac{-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2 - 3 \times (-1)}}{3} = \frac{2 \pm \sqrt{7}}{3}$$

- (6)  $3x+13=t$  とおくと、方程式は次のようになる。

$$t^2 - 4t - 221 = 0$$

$$(t+13)(t-17) = 0$$

よって  $t = -13, 17$

すなわち  $3x+13 = -13$  または  $3x+13 = 17$

したがって  $x = -\frac{26}{3}, \frac{4}{3}$

$$(7) \frac{1}{3}x(x+5) + \frac{3}{4} = \frac{1}{3}x$$

両辺に 12 をかけて  $4x(x+5) + 9 = 4x$

$$4x^2 + 20x + 9 = 4x$$

$$4x^2 + 16x + 9 = 0$$

$$\text{よって } x = \frac{-8 \pm \sqrt{8^2 - 4 \times 4 \times 9}}{4} = \frac{-8 \pm \sqrt{28}}{4} = \frac{-8 \pm 2\sqrt{7}}{4} = \frac{-4 \pm \sqrt{7}}{2}$$

$$(8) \frac{x^2-1}{4} - \frac{2x-5}{3} = \frac{x^2+5}{6}$$

両辺に 12 をかけて  $3(x^2-1) - 4(2x-5) = 2(x^2+5)$

$$3x^2 - 3 - 8x + 20 = 2x^2 + 10$$

$$x^2 - 8x + 7 = 0$$

$$(x-1)(x-7) = 0$$

よって  $x = 1, 7$

$$(9) 0.5x(0.5-x) + 0.25(2x+1) = 0.5x$$

両辺に 4 をかけて  $x(1-2x) + (2x+1) = 2x$

$$x - 2x^2 + 2x + 1 = 2x$$

$$-2x^2 + x + 1 = 0$$

$$2x^2 - x - 1 = 0$$

$$(x-1)(2x+1) = 0$$

よって  $x = 1, -\frac{1}{2}$

$$(10) (x+8)\left(\frac{1}{2}x-4\right) + \frac{1}{2}\{(x+5)^2 - (x-5)^2\} - 16 = 0$$

両辺に 2 をかけて  $(x+8)(x-8) + \{(x+5)^2 - (x-5)^2\} - 32 = 0$

$$x^2 - 64 + \{(x+5) + (x-5)\}\{(x+5) - (x-5)\} - 32 = 0$$

$$x^2 - 64 + 20x - 32 = 0$$

$$x^2 + 20x - 96 = 0$$

$$(x+24)(x-4) = 0$$

よって  $x = -24, 4$

2

解説

$$(1) \begin{cases} x^2+7x+4y+7=0 & \dots \text{①} \\ x+4y=2 & \dots \text{②} \end{cases}$$

②から  $4y=2-x$  ……③

③を①に代入すると

$$\begin{aligned} x^2+7x+(2-x)+7=0 \\ x^2+6x+9=0 \\ (x+3)^2=0 \end{aligned}$$

これを解くと  $x=-3$

これを③に代入すると  $4y=2-(-3)$

すなわち  $4y=5$  よって  $y=\frac{5}{4}$

したがって  $x=-3, y=\frac{5}{4}$

$$(2) \begin{cases} (x+y)^2-4(x+y)+4=0 & \dots \text{①} \\ (3x-2y)^2+(3x-2y)=6 & \dots \text{②} \end{cases}$$

①において、 $x+y=a$  とおくと

$$a^2-4a+4=0$$

$$(a-2)^2=0$$

これを解くと  $a=2$  よって  $x+y=2$  ……③

②において、 $3x-2y=b$  とおくと  $b^2+b=6$

すなわち  $b^2+b-6=0$

$$(b-2)(b+3)=0$$

これを解くと  $b=2, -3$

よって  $3x-2y=2$  ……④ または  $3x-2y=-3$  ……⑤

③, ④より  $\begin{cases} x+y=2 \\ 3x-2y=2 \end{cases}$

これを解くと  $x=\frac{6}{5}, y=\frac{4}{5}$

③, ⑤より  $\begin{cases} x+y=2 \\ 3x-2y=-3 \end{cases}$

これを解くと  $x=\frac{1}{5}, y=\frac{9}{5}$

したがって  $(x, y)=\left(\frac{6}{5}, \frac{4}{5}\right), \left(\frac{1}{5}, \frac{9}{5}\right)$

3

解説

$$(1) \begin{cases} x+y=5 & \dots \text{①} \\ x^2-y^2=-5 & \dots \text{②} \end{cases}$$

②より  $(x+y)(x-y)=-5$

①を代入して  $5(x-y)=-5$

$$x-y=-1 \dots \text{③}$$

①, ③より  $x=2, y=3$

$$(2) \begin{cases} 3x=2y & \dots \text{①} \\ x^2+y^2=52 & \dots \text{②} \end{cases}$$

①より  $y=\frac{3}{2}x$  ……③

③を②に代入して  $x^2+\left(\frac{3}{2}x\right)^2=52$

両辺に4をかけて整理すると  $13x^2=208$

$$x^2=16$$

$$x=\pm 4$$

③から  $x=4$  のとき  $y=6$

$x=-4$  のとき  $y=-6$

⊗  $x=4, y=6$  または  $x=-4, y=-6$

$$(3) \begin{cases} (x-1)^2+y=5 \\ 2(x-1)^2+y=7 \end{cases}$$

$(x-1)^2=t$  とおくと  $\begin{cases} t+y=5 & \dots \text{①} \\ 2t+y=7 & \dots \text{②} \end{cases}$

①, ②より  $t=2, y=3$

$t=2$  より  $(x-1)^2=2$

$$x-1=\pm\sqrt{2}$$

したがって  $x=1\pm\sqrt{2}$

⊗  $x=1+\sqrt{2}, y=3$  または  $x=1-\sqrt{2}, y=3$

$$(4) \begin{cases} \frac{1}{x}+\frac{2}{y}=3 & \dots \text{①} \\ x+y=0 & \dots \text{②} \end{cases}$$

①の両辺に $xy$ をかけて  $y+2x=3xy$  ……③

②より  $y=-x$  ……④

④を③に代入して  $-x+2x=3x \times (-x)$

$$3x^2+x=0$$

$$x(3x+1)=0$$

よって  $x=0, -\frac{1}{3}$

$x$ は分母にあるので  $x \neq 0$

$x=-\frac{1}{3}$ を④に代入して  $y=\frac{1}{3}$

⊗  $x=-\frac{1}{3}, y=\frac{1}{3}$

4

解説

(1)  $x$ の2次方程式  $2x^2+ax+2a=0$  が  $1-\sqrt{5}$  を解にもつから、方程式に  $x=1-\sqrt{5}$  を代入して

$$2(1-\sqrt{5})^2+a \times (1-\sqrt{5})+2a=0$$

$$2(6-2\sqrt{5})+(3-\sqrt{5})a=0$$

よって  $a=-\frac{2(6-2\sqrt{5})}{3-\sqrt{5}}=-\frac{4(3-\sqrt{5})}{3-\sqrt{5}}=-4$

(2)  $a=-4$  のとき、2次方程式  $2x^2+ax+2a=0$  は

$$2x^2-4x-8=0 \quad \text{すなわち} \quad x^2-2x-4=0$$

これを解くと  $x=\frac{-(-1)\pm\sqrt{(-1)^2-1 \times (-4)}}{1}=1\pm\sqrt{5}$

よって、他の解は  $1+\sqrt{5}$

5 [大阪教育大学附属平野]

解説

$$ax^2+bx+c=0$$

$a \neq 0$  より  $a\left(x^2+\frac{b}{a}x\right)+c=0$

$$a\left\{\left(x+\frac{b}{2a}\right)^2-\frac{b^2}{4a^2}\right\}+c=0$$

$$a\left(x+\frac{b}{2a}\right)^2-\frac{b^2}{4a}+c=0$$

$$a\left(x+\frac{b}{2a}\right)^2=\frac{b^2-4ac}{4a}$$

$$\left(x+\frac{b}{2a}\right)^2=\frac{b^2-4ac}{4a^2}$$

$b^2-4ac > 0$  より  $x+\frac{b}{2a}=\pm\sqrt{\frac{b^2-4ac}{4a^2}}$

$$=\pm\frac{\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

したがって  $x=-\frac{b}{2a}\pm\frac{\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$

$$=\frac{-b\pm\sqrt{b^2-4ac}}{2a}$$

6

解説

$x^2+x+m=0$  の判別式を  $D$  とすると  $D=1^2-4 \cdot 1 \cdot m=1-4m$

この符号を調べると

$m < \frac{1}{4}$  のとき  $D > 0$  このとき、実数解の個数は 2 個

$m = \frac{1}{4}$  のとき  $D = 0$  このとき、実数解の個数は 1 個

$m > \frac{1}{4}$  のとき  $D < 0$  このとき、実数解の個数は 0 個

7

解説

(1) 解の和は  $1+(-3)=-2$ 、解の積は  $1 \cdot (-3)=-3$

よって、この2数を解とする2次方程式の1つは  $x^2-(-2)x+(-3)=0$

すなわち  $x^2+2x-3=0$

(2) 解の和は  $(3+\sqrt{2})+(3-\sqrt{2})=6$ 、解の積は  $(3+\sqrt{2})(3-\sqrt{2})=3^2-(\sqrt{2})^2=7$

よって、この2数を解とする2次方程式の1つは  $x^2-6x+7=0$

8

解説

$x^2 - px - 12 = 0$  ……①,  $x^2 + qx + r = 0$  ……②とする。

①が-4を解にもつから  $(-4)^2 - p \times (-4) - 12 = 0$

これを解くと  $p = -1$

$p = -1$ を①に代入すると  $x^2 + x - 12 = 0$

これを解くと  $(x+4)(x-3) = 0$  よって  $x = -4, 3$

したがって, ①, ②の共通の解は  $-4$  または  $3$

②が7を解にもつから  $7^2 + q \times 7 + r = 0$

すなわち  $49 + 7q + r = 0$  ……③

[1] 共通の解が-4となるとき

$x = -4$ を②に代入して  $(-4)^2 + q \times (-4) + r = 0$

すなわち  $16 - 4q + r = 0$  ……④

③, ④を解いて  $q = -3, r = -28$

[2] 共通の解が3となるとき

$x = 3$ を②に代入して  $3^2 + q \times 3 + r = 0$

すなわち  $9 + 3q + r = 0$  ……⑤

③, ⑤を解いて  $q = -10, r = 21$

よって  $(p, q, r) = (-1, -3, -28), (-1, -10, 21)$

9

解説

共通な解を $\alpha$ とすると

$\alpha^2 + \alpha + m = 0$  ……①,  $\alpha^2 + 3\alpha + 2m = 0$  ……②

①から  $m = -\alpha^2 - \alpha$  ……③

これを②に代入して  $\alpha^2 + 3\alpha + 2(-\alpha^2 - \alpha) = 0$

よって  $\alpha^2 - \alpha = 0$  これを解いて  $\alpha = 0, 1$

③から  $\alpha = 0$ のとき  $m = 0, \alpha = 1$ のとき  $m = -2$

したがって  $m = 0$ , 共通な解0 または  $m = -2$ , 共通な解1

10

解説

-3と5が解となる2次方程式は

$(x+3)(x-5) = 0$  すなわち  $x^2 - 2x - 15 = 0$

$2 + \sqrt{3}$ と $2 - \sqrt{3}$ が解となる2次方程式は

$\{x - (2 + \sqrt{3})\}\{x - (2 - \sqrt{3})\} = 0$

すなわち  $x^2 - 4x + 1 = 0$

よって, もとの2次方程式は  $x^2 - 4x - 15 = 0$

これを解くと  $x = 2 \pm \sqrt{19}$

したがって, 正しい解は  $x = 2 \pm \sqrt{19}$

11 [立命館大]

解説

①から  $x = y \pm \sqrt{y^2 - (2y^2 - 25)} = y \pm \sqrt{-y^2 + 25 - y^2}$  ……②

$x$ が整数となるのは,  $25 - y^2$ が平方数のときである。

$25 - y^2$ が平方数になるとき,  $y$ は整数であるから  $y^2 = 0, 9, 16, 25$

$y \geq 0$ であるから  $y = 0, 3, 4, 5$

$x \geq 0$ , ②から  $y = 0$ のとき  $x = 5$ ;  $y = 3$ のとき  $x = 7$ ;

$y = 4$ のとき  $x = 7, 1$ ;  $y = 5$ のとき  $x = 5$

よって,  $(x, y)$ の組は全部で7通り

これらの中で $x$ の値が最も大きい組は $(7, 3), (7, 4)$ の2通りである。

12

解説

大きい方の正方形の1辺の長さを $x$ cmとする。

このとき, 大きい方の正方形をつくるのに必要な針金の長さは $4x$ cmである。

したがって, 小さい方の正方形をつくるために使う針金の長さは $(60 - 4x)$ cm

よって, 小さい方の正方形の1辺の長さは $(15 - x)$ cm

したがって  $x^2 + (15 - x)^2 = 200$

$2x^2 - 30x + 25 = 0$

これを解いて  $x = \frac{-(-15) \pm \sqrt{(-15)^2 - 2 \times 25}}{2} = \frac{15 \pm 5\sqrt{7}}{2}$

求める $x$ は大きい方の正方形の1辺の長さであるから

$x = \frac{15 + 5\sqrt{7}}{2}$  答  $\frac{15 + 5\sqrt{7}}{2}$  cm

13

解説

小の半円の半径を $x$ cmとすると, 中の半円の半径は

$(5 \times 2 - 2x) \times \frac{1}{2} = 5 - x$  (cm)

斜線部分の面積について

$\pi \times 5^2 \times \frac{1}{2} - \pi x^2 \times \frac{1}{2} - \pi(5 - x)^2 \times \frac{1}{2} = 6\pi$

$25 - x^2 - (25 - 10x + x^2) = 12$

$x^2 - 5x + 6 = 0$

$(x - 2)(x - 3) = 0$

したがって  $x = 2, 3$  ……①

ここで, 小円の半径は中円の半径よりも小さいから

$x < 5 - x$  より  $x < \frac{5}{2}$

これを満たす①の値は  $x = 2$

$x = 3$ は, この問題には適さない。

答 2 cm

14 [智弁学園和歌山]

解説

P, Qが出発してから $t$ 秒後 ( $0 \leq t \leq 6$ )を考える。

[1]  $0 \leq t \leq 2$ のとき

$\triangle APQ$ は底辺 $AP = t$  cm, 高さ $3t$  cmより

$\triangle APQ = \frac{1}{2} \times t \times 3t$

$= \frac{3}{2} t^2$  (cm<sup>2</sup>)

よって  $\frac{3}{2} t^2 = 6$

$t^2 = 4$

$t = \pm 2$

$0 \leq t \leq 2$ より  $t = 2$

[2]  $2 < t \leq 4$ のとき

$\triangle APQ$ は底辺 $AP = t$  cm, 高さ $BC = 6$  cmより

$\triangle APQ = \frac{1}{2} \times t \times 6$

$= 3t$  (cm<sup>2</sup>)

よって  $3t = 6$

$t = 2$

$2 < t \leq 4$ より, 適さない。

[3]  $4 < t \leq 6$ のとき

$\triangle APQ$ は底辺 $AP = t$  cm, 高さ $AQ = 18 - 3t$  (cm)より

$\triangle APQ = \frac{1}{2} \times t \times (18 - 3t)$

$= \frac{1}{2} t(18 - 3t)$  (cm<sup>2</sup>)

よって  $\frac{1}{2} t(18 - 3t) = 6$

$t^2 - 6t + 4 = 0$

$4 < t \leq 6$ より  $t = 3 + \sqrt{5}$

以上から 2秒後,  $(3 + \sqrt{5})$ 秒後

15 [智弁学園和歌山]

解説

(1) 赤色のひもの長さは  $40 \times \left(1 + \frac{x}{100}\right)$  cm

よって, 青色のひもの長さは

$40 \times \left(1 + \frac{x}{100}\right) \times \left(1 + \frac{2x}{100}\right) = 40 \times \frac{100 + x}{100} \times \frac{50 + x}{50}$

$= \frac{(x + 100)(x + 50)}{125}$

$= \frac{x^2 + 150x + 5000}{125}$

$= \frac{1}{125} x^2 + \frac{6}{5} x + 40$  (cm)

(2) 方程式は  $\frac{1}{125} x^2 + \frac{6}{5} x + 40 - 40 = 19.8$

$x^2 + 150x - 2475 = 0$

$(x + 165)(x - 15) = 0$

$x > 0$ であるから  $x = 15$

このとき, 赤色のひもの長さは

$40 \times \left(1 + \frac{15}{100}\right) = 46$  (cm)

これは問題に適している。

16 [滝]

解説

- (1)  $2000 \times \left(1 + \frac{x}{100}\right) = 2000 + 20x$  (円)  
 (2)  $(2000 + 20x) \times \left(1 - \frac{x}{100}\right) = 2000 - 20x + 20x - \frac{x^2}{5}$   
 $= 2000 - \frac{x^2}{5}$  (円)

(3) 利益の合計について

$$20x \times 30 - \frac{x^2}{5} \times (50 - 30) = 2900$$

$$-4x^2 + 600x = 2900$$

$$x^2 - 150x + 725 = 0$$

$$(x - 5)(x - 145) = 0$$

$0 < x < 100$  であるから、 $x = 5$  は問題に適するが、 $x = 145$  は問題に適さない。

よって  $x = 5$

17 [愛光]

解説

- (1)  $60 \times 100 + 60 \times \left(1 - \frac{3}{10}x\right) \times 300 = 6000 + 18000 - 5400x$   
 $= 24000 - 5400x$  (円)

(2) 代金の合計について

$$(24000 - 5400x) \times \left(1 + \frac{x}{10}\right) = 20460$$

$$(400 - 90x) \times \left(1 + \frac{x}{10}\right) = 341$$

$$400 + 40x - 90x - 9x^2 = 341$$

$$9x^2 + 50x - 59 = 0$$

解の公式により

$$x = \frac{-50 \pm \sqrt{50^2 - 4 \times 9 \times (-59)}}{2 \times 9}$$

$$= \frac{-50 \pm \sqrt{4624}}{18}$$

$$= \frac{-50 \pm 68}{18}$$

よって  $x = 1, -\frac{59}{9}$

$x > 0$  であるから  $x = 1$

18

解説

昨年度の男子生徒数は  $300 \left(1 - \frac{x}{100}\right) = 300 - 3x$  (人)

よって、今年度の男子生徒数は

$$(300 - 3x) \left(1 + \frac{4x}{100}\right) = 300 + 12x - 3x - \frac{3}{25}x^2$$

$$= 300 + 9x - \frac{3}{25}x^2$$
 (人)

今年度の女子生徒数は

$$200 \left(1 - \frac{2x}{100}\right) \left(1 - \frac{2x}{100}\right) = 200 \left(1 - \frac{x}{25} + \frac{x^2}{2500}\right)$$

$$= 200 - 8x + \frac{2}{25}x^2$$
 (人)

よって  $300 + 9x - \frac{3}{25}x^2 + 200 - 8x + \frac{2}{25}x^2 = 504$

整理すると  $x^2 - 25x + 100 = 0$

$$(x - 5)(x - 20) = 0$$

これを解いて  $x = 5, 20$

$x$  は 10 を超えないから、 $x = 20$  は適さない。 $x = 5$  は問題に適する。

図  $x = 5$

19 [明治大学付属明治]

解説

定価を  $a$  円、売り上げ個数を  $b$  個とする。

定価を  $x\%$  値下げしたとき、売り上げ金額が  $10.5\%$  増加したとすると

$$a \left(1 - \frac{x}{100}\right) \times b \left(1 + \frac{2x}{100}\right) = ab \times \left(1 + \frac{10.5}{100}\right)$$

$$(100 - x) \times (50 + x) = 5525$$

$$x^2 - 50x + 525 = 0$$

$$(x - 15)(x - 35) = 0$$

$$x = 15, 35$$

これらは問題に適している。

よって、求める数は 15, 35

20

解説

(1) 直線  $l$  を表す式は  $y = x + k$

点  $Q$  は、直線  $y = x + k$  と直線  $y = 2x$  の交点であるから、

$$\begin{cases} y = x + k \\ y = 2x \end{cases} \text{ を解いて } x = k, y = 2k$$

よって、点  $Q$  の座標は  $(k, 2k)$

(2) 点  $P$  の  $x$  座標は、 $0 = x + k$  を解いて  $x = -k$

$$\text{よって } S = \frac{1}{2} \times k \times 2k = k^2$$

(3) 点  $A$  の  $x$  座標は、 $5 = 2x$  を解いて  $x = \frac{5}{2}$

点  $R$  の  $x$  座標は、 $5 = x + k$  を解いて  $x = 5 - k$

よって  $AR = (R \text{ の } x \text{ 座標}) - (A \text{ の } x \text{ 座標})$

$$= (5 - k) - \frac{5}{2}$$

$$= \frac{5}{2} - k$$

また、 $\triangle AQR$  において、辺  $AR$  を底辺としたときの高さは

$$5 - (Q \text{ の } y \text{ 座標}) = 5 - 2k$$

$$\text{よって } T = \frac{1}{2} \times \left(\frac{5}{2} - k\right) \times (5 - 2k) = k^2 - 5k + \frac{25}{4}$$

(4)  $k^2 - 5k + \frac{25}{4} = 4$

$$4k^2 - 20k + 9 = 0$$

$$(2k - 1)(2k - 9) = 0$$

$0 \leq k \leq \frac{5}{2}$  であるから  $k = \frac{1}{2}$

$k = \frac{9}{2}$  は、この問題には適さない。

図  $k = \frac{1}{2}$

21

解説

(1) 直線  $l$  の式を  $y = ax + b$  とおく。

この直線が  $A(-1, -1)$  を通るから  $-1 = -a + b$  ……①

$B(2, 5)$  を通るから  $5 = 2a + b$  ……②

①, ② を連立方程式として解くと  $a = 2, b = 1$

よって、直線  $l$  の式は  $y = 2x + 1$

(2) 点  $P$  の  $x$  座標を  $p$  とすると、 $P(p, 2p + 1), Q(p, 0)$  である。

また、 $C(0, 1)$  である。

点  $C$  から直線  $PQ$  に垂線を引き、直線  $PQ$  との交点を  $H$  とする。

[1]  $p > 0$  のとき

$$\triangle PCQ = \frac{1}{2} \times PQ \times CH$$

$$= \frac{1}{2} \times (2p + 1) \times p$$

$$= \frac{1}{2} (2p^2 + p)$$

$\triangle PCQ$  の面積が 14 であるから  $\frac{1}{2} (2p^2 + p) = 14$

$$\text{整理すると } 2p^2 + p - 28 = 0$$

$$(p + 4)(2p - 7) = 0$$

これを解いて  $p = -4, \frac{7}{2}$

$p > 0$  であるから、 $p = -4$  は適さない。 $p = \frac{7}{2}$  は適する。

[2]  $p < 0$  のとき

$$\triangle PCQ = \frac{1}{2} \times PQ \times CH$$

$$= \frac{1}{2} \times (-(2p + 1)) \times (-p)$$

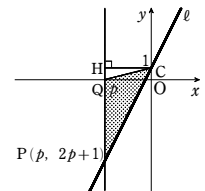
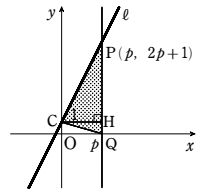
$$= \frac{1}{2} (2p^2 + p)$$

よって  $\frac{1}{2} (2p^2 + p) = 14$

これを解いて  $p = -4, \frac{7}{2}$

$p < 0$  であるから、 $p = \frac{7}{2}$  は適さない。 $p = -4$  は適する。

したがって、点  $P$  の  $x$  座標は  $\frac{7}{2}, -4$





22

解説

(1) 点 C は直線 ① 上にあるから、C の座標は  $(t, \frac{t}{2})$  とおける。

四角形 ABCD は平行四辺形となるから、辺 AB と辺 DC は平行で長さが等しくなる。  
点 B を x 軸方向に -3、y 軸方向に 4 だけ移動した点が A である。

したがって、点 C を x 軸方向に -3、y 軸方向に 4 だけ移動した点が D となる。

よって、D の座標は  $(t-3, \frac{t}{2}+4)$  と表される。

点 D は双曲線  $xy=6$  上の点であるから

$$(t-3)\left(\frac{t}{2}+4\right)=6$$

$$t^2+5t-36=0$$

$$(t-4)(t+9)=0$$

点 D は  $x>0$  の範囲にある点であるから  $t=4$

よって、C の座標は (4, 2)、D の座標は (1, 6)

(2) 平行四辺形 ABCD の 2 本の対角線の交点を Q とする。Q を通る直線は、平行四辺形 ABCD の面積を 2 等分する。

よって、直線  $l$  は、2 点 P、Q を通る直線である。

点 Q は線分 AC の中点であるから、座標は

$$\left(\frac{-4+4}{2}, \frac{3+2}{2}\right) \quad \text{すなわち} \quad \left(0, \frac{5}{2}\right)$$

直線  $l$  の式を  $y=ax+b$  とおく。

$l$  は、2 点 (3, -1)、 $(0, \frac{5}{2})$  を通るから

$$-1=3a+b, \quad \frac{5}{2}=a \times 0 + b$$

これを解いて  $a=-\frac{7}{6}, b=\frac{5}{2}$

よって、直線  $l$  の式は  $y=-\frac{7}{6}x+\frac{5}{2}$

23 [東京学芸大学附属]

解説

(1)  $m=2, a=4$  のとき、A、B の座標はそれぞれ (4, 4)、(4, 8) より

$$S=\frac{1}{2} \times (8-4) \times 4=8$$

(2)  $a=6$  のとき、A、B の座標はそれぞれ (6, 6)、(6, 6m) より、 $\triangle OAB$  の面積について

$$\frac{1}{2} \times (6m-6) \times 6=6$$

$$m=\frac{4}{3}$$

これは問題に適している。

よって、求める  $m$  の値は  $m=\frac{4}{3}$

(3)  $m=3$  のとき、A、B の座標はそれぞれ (a, a)、(a, 3a) より

$$S=\frac{1}{2} \times (3a-a) \times a$$

$$=a^2$$

また、C、D の座標はそれぞれ (a+3, a+3)、(a+3, 3(a+3)) より

$$\triangle OCD = \frac{1}{2} \times [3(a+3)-(a+3)] \times (a+3)$$

$$= (a+3)^2$$

よって  $T = \triangle OCD - S$

$$= (a+3)^2 - a^2$$

$$= 6a+9$$

したがって  $T - S = 17$

$$(6a+9) - a^2 = 17$$

$$a^2 - 6a + 8 = 0$$

$$(a-2)(a-4) = 0$$

$$a = 2, 4$$

これらは問題に適している。

したがって、求める  $a$  の値は  $a=2, 4$

24 [法政大学附属]

解説

(1)  $\frac{x}{2}$  g をくみ出した残りの食塩水に含まれる食塩の量は

$$200 \times \frac{5}{100} - \frac{x}{2} \times \frac{5}{100} = 10 - \frac{x}{40} \quad (\text{g})$$

(2) 水  $\frac{x}{2}$  g を加えたあとの食塩水の濃度は

$$\left(10 - \frac{x}{40}\right) \div 200 \times 100 = 5 - \frac{x}{80} \quad (\%)$$

$(200-x)$  g の  $\left(5 - \frac{x}{80}\right)\%$  が 3.75 g にあたるから

$$(200-x) \times \left(5 - \frac{x}{80}\right) \div 100 = 3.75$$

$$x^2 - 600x + 50000 = 0$$

$$(x-100)(x-500) = 0$$

$$x = 100, 500$$

$x < 200$  より  $x = 100$

25

解説

(1) 列車 A、B が  $x$  時間に進んだ距離の和に関して

$$45x + xy = 90 \quad \dots\dots ①$$

列車 B の進んだ時間と距離の関係について  $y\left(x + \frac{1}{3}\right) = 90$

すなわち  $xy + \frac{1}{3}y = 90 \quad \dots\dots ②$

(2) ①-② より  $45x - \frac{1}{3}y = 0$

よって  $y = 135x \quad \dots\dots ③$

(3) ③を①に代入して

$$45x + x \times 135x = 90$$

$$3x^2 + x - 2 = 0$$

$$(x+1)(3x-2)=0$$

よって  $x = -1, \frac{2}{3}$

$x > 0$  であるから  $x = \frac{2}{3}$

$x = -1$  は、この問題には適さない。

$x = \frac{2}{3}$  のとき、③より  $y = 135 \times \frac{2}{3} = 90$

⊙ 時速 90 km

第11章 2次方程式 レベルC

①[1][國學院大], ②[南山大], ③[群馬大]

解説

(1) 方程式の両辺に  $4+2\sqrt{3}$  を掛けると  $4x^2+2(\sqrt{3}+1)x-4(2+\sqrt{3})=0$

すなわち  $2x^2+(\sqrt{3}+1)x-2(2+\sqrt{3})=0$

$$\begin{aligned} \text{よって } x &= \frac{-(\sqrt{3}+1) \pm \sqrt{(\sqrt{3}+1)^2 - 4 \cdot 2 \cdot \{-2(2+\sqrt{3})\}}}{2 \cdot 2} \\ &= \frac{-\sqrt{3}-1 \pm \sqrt{36+18\sqrt{3}}}{4} \\ &= \frac{-\sqrt{3}-1 \pm 3\sqrt{4+2\sqrt{3}}}{4} \\ &= \frac{-\sqrt{3}-1 \pm 3(\sqrt{3}+1)}{4} \\ &= \frac{\sqrt{3}+1}{2}, -\sqrt{3}-1 \end{aligned}$$

$$\begin{cases} x+y+2z=15 & \dots\dots ① \\ 3x+2y-2z=0 & \dots\dots ② \\ xz=36 & \dots\dots ③ \end{cases}$$

②-①×2から  $x-6z=-30$  よって  $x=6z-30$  ……④

④を③に代入して  $(6z-30)z=36$  ゆえに  $z^2-5z-6=0$

すなわち  $(z+1)(z-6)=0$  よって  $z=-1, 6$

[1]  $z=-1$  のとき, ④から  $x=-36$

①より,  $y=15-x-2z$  であるから  $y=53$

[2]  $z=6$  のとき, ④から  $x=6$

$y=15-x-2z$  であるから  $y=-3$

以上から  $(x, y, z)=(-36, 53, -1), (6, -3, 6)$

$$\begin{cases} x^2-2y=8 & \dots\dots ① \\ y^2-2x=8 & \dots\dots ② \end{cases} \text{とおく。}$$

①-②から  $x^2-y^2-2y+2x=0$

すなわち  $(x+y)(x-y)+2(x-y)=0$

よって  $(x+y+2)(x-y)=0$  ゆえに  $x+y+2=0, x=y$

(i)  $x+y+2=0$  のとき  $y=-x-2$  ……③

③を①に代入して  $x^2-2(-x-2)=8$

よって  $x^2+2x-4=0$  ゆえに  $x=-1 \pm \sqrt{5}$

③から  $x=-1+\sqrt{5}$  のとき  $y=-1-\sqrt{5}$

$x=-1-\sqrt{5}$  のとき  $y=-1+\sqrt{5}$

(ii)  $x=y$  のとき

①から  $x^2-2x=8$

すなわち  $(x+2)(x-4)=0$  よって  $x=-2, 4$

$x=y$  から  $x=-2$  のとき  $y=-2$

$x=4$  のとき  $y=4$

(i), (ii) から, 求める解は

$(x, y)=(-1+\sqrt{5}, -1-\sqrt{5}), (-1-\sqrt{5}, -1+\sqrt{5}), (-2, -2), (4, 4)$

②[上智大]

解説

$x^2+y^2+3xy=(x+y)^2+xy$  であるから, 与式は

$$\begin{cases} (x+y)^2+xy=11 & \dots\dots ① \\ x+y-xy=9 & \dots\dots ② \end{cases}$$

①+②から  $(x+y)^2+(x+y)-20=0$

$(x+y+5)(x+y-4)=0$

よって  $x+y=-5, 4$

$x+y=-5$  のとき, ②から  $xy=-5-9=-14$

$x+y=4$  のとき, ②から  $xy=4-9=-5$

[1]  $x+y=-5, xy=-14$  のとき

$x, y$  は,  $t$  の2次方程式  $t^2+5t-14=0$  の解である。

$t^2+5t-14=0$  から  $(t+7)(t-2)=0$  よって  $t=-7, 2$

ゆえに  $x=-7, y=2$  または  $x=2, y=-7$

$x < y$  を満たすのは  $x=-7, y=2$

[2]  $x+y=4, xy=-5$  のとき

$x, y$  は,  $t$  の2次方程式  $t^2-4t-5=0$  の解である。

$t^2-4t-5=0$  から  $(t+1)(t-5)=0$  よって  $t=-1, 5$

ゆえに  $x=-1, y=5$  または  $x=5, y=-1$

$x < y$  を満たすのは  $x=-1, y=5$

[1], [2] から  $x=-7, y=2$  と  $x=-1, y=5$

③[順天堂大]

解説

$x=0$  は方程式の解でないから, 方程式の両辺を  $x^2 (\neq 0)$  で割ると

$$x^2-7x+14-\frac{7}{x}+\frac{1}{x^2}=0 \dots\dots ①$$

$$x+\frac{1}{x}=t \text{ とおくと } x^2+\frac{1}{x^2}=\left(x+\frac{1}{x}\right)^2-2=t^2-2$$

①に代入して  $t^2-2-7t+14=0$  よって  $t^2-7t+12=0$

ゆえに  $(t-3)(t-4)=0$  したがって  $t=3, 4$

[1]  $t=3$  のとき  $x+\frac{1}{x}=3$

両辺に  $x (\neq 0)$  を掛けて整理すると  $x^2-3x+1=0$

これを解いて  $x=\frac{-(-3) \pm \sqrt{(-3)^2-4 \cdot 1 \cdot 1}}{2}=\frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}$

[2]  $t=4$  のとき  $x+\frac{1}{x}=4$

両辺に  $x (\neq 0)$  を掛けて整理すると  $x^2-4x+1=0$

これを解いて  $x=-(-2) \pm \sqrt{(-2)^2-1 \cdot 1}=2 \pm \sqrt{3}$

以上から, 求める解は  $x=\frac{3 \pm \sqrt{5}}{2}, 2 \pm \sqrt{3}$

④[育英]

解説

(1)  $x^2-ax-b=0$  の解は

$$\begin{aligned} x &= \frac{-(-a) \pm \sqrt{(-a)^2-4 \times 1 \times (-b)}}{2 \times 1} \\ &= \frac{a \pm \sqrt{a^2+4b}}{2} \end{aligned}$$

この2次方程式の解の1つが  $x=\frac{1-\sqrt{5}}{2}$  であるから

$$\begin{cases} a=1 \\ a^2+4b=5 \end{cases}$$

$a=1$  を  $a^2+4b=5$  に代入すると

$$1+4b=5$$

$$b=1$$

よって  $a=1, b=1$

(2) もう1つの解は  $x=\frac{1+\sqrt{5}}{2}$

⑤

解説

求める2数は,  $x^2-x-1=0$  の解である。

これを解いて  $x=\frac{1 \pm \sqrt{5}}{2}$

よって, 求める2数は  $\frac{1+\sqrt{5}}{2}, \frac{1-\sqrt{5}}{2}$

⑥[広島文教女子大]

解説

$a=0$  のとき  $3x+1=0$  から  $x=-\frac{1}{3}$  よって, 1個の実数解をもつ。

$a \neq 0$  のとき 判別式  $D=9-4a$  について

$9-4a > 0$  すなわち  $a < \frac{9}{4}$  のとき, 異なる2個の実数解をもつ。

$9-4a = 0$  すなわち  $a = \frac{9}{4}$  のとき, 実数の重解をもつ。

$9-4a < 0$  すなわち  $a > \frac{9}{4}$  のとき, 実数解をもたない。

以上から

$a < 0, 0 < a < \frac{9}{4}$  のとき2個;  $a = 0, \frac{9}{4}$  のとき1個;  $a > \frac{9}{4}$  のとき0個

⑦

解説

解と係数の関係から  $\alpha + \beta = 3, \alpha\beta = 7$

よって  $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = 3^2 - 2 \cdot 7 = -5$

$$\alpha^4 + \beta^4 = (\alpha^2 + \beta^2)^2 - 2(\alpha\beta)^2 = (-5)^2 - 2 \cdot 7^2 = -73$$

また,  $\alpha, \beta$  は方程式  $x^2-3x+7=0$  の解であるから

$$\alpha^2-3\alpha+7=0, \beta^2-3\beta+7=0$$

ゆえに  $\alpha^2=3\alpha-7, \beta^2=3\beta-7$

よって  $(\alpha^2+3\alpha+7)(\beta^2-\beta+7) = (3\alpha-7+3\alpha+7)(3\beta-7-\beta+7)$   
 $= 6\alpha \cdot 2\beta = 12\alpha\beta = 12 \cdot 7 = 84$

8

解説

解と係数の関係から  $\alpha + \beta = -1, \alpha\beta = -3$ 

$$(1) (\alpha - 2) + (\beta - 2) = \alpha + \beta - 4 = -1 - 4 = -5$$

$$(\alpha - 2)(\beta - 2) = \alpha\beta - 2(\alpha + \beta) + 4 = -3 - 2 \cdot (-1) + 4 = 3$$

よって、求める2次方程式の1つは  $x^2 + 5x + 3 = 0$ 

$$(2) (\alpha + \beta) + \alpha\beta = (-1) + (-3) = -4$$

$$(\alpha + \beta) \cdot \alpha\beta = (-1) \cdot (-3) = 3$$

よって、求める2次方程式の1つは  $x^2 + 4x + 3 = 0$ 

$$(3) \alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta = (-1)^2 - 2 \cdot (-3) = 7$$

$$\alpha^2\beta^2 = (\alpha\beta)^2 = (-3)^2 = 9$$

よって、求める2次方程式の1つは  $x^2 - 7x + 9 = 0$ 

9 [甲南大]

解説

$$x^2 + kx + 1 = 0 \quad \dots\dots ①,$$

$$x^2 = (k+4)x + 1 = 0 \quad \dots\dots ② \quad \text{とする.}$$

①の2つの解を  $\alpha, \beta$  とすると、解と係数の関係から  $\alpha + \beta = -k, \alpha\beta = 1$ ②の2つの解は  $\alpha^2, \beta^2$  であり、解と係数の関係から  $\alpha^2 + \beta^2 = k + 4$ ここで、 $\alpha^2 + \beta^2 = (\alpha + \beta)^2 - 2\alpha\beta$  であるから  $k + 4 = (-k)^2 - 2 \cdot 1$ 

整理して  $k^2 - k - 6 = 0$  ゆえに  $(k+2)(k-3) = 0$

よって  $k = -2, 3$ 

10 [灘]

解説

 $a = -2$  のとき、等式は成立しないから適さない。 $a \neq -2$  のとき、解の公式により

$$x = \frac{(a+2)(a-2\sqrt{2}+1) \pm \sqrt{D}}{2(a+2)^2}$$

 $D = 0$  のとき、方程式の解はただ1つになる。

$$D = (a+2)^2(a-2\sqrt{2}+1)^2 - 4(a+2)^2 \times \sqrt{2}(\sqrt{2}-1)(a-\sqrt{2}-1)$$

これが0になるので

$$(a+2)^2(a-2\sqrt{2}+1)^2 - 4(a+2)^2 \times \sqrt{2}(\sqrt{2}-1)(a-\sqrt{2}-1) = 0$$

 $a \neq -2$  より、両辺を  $(a+2)^2$  で割ると

$$(a-2\sqrt{2}+1)^2 - 4\sqrt{2}(\sqrt{2}-1)(a-\sqrt{2}-1) = 0$$

$$\{(a-2\sqrt{2}+1)^2 - 4\sqrt{2}(\sqrt{2}-1)(a-\sqrt{2}-1)\} = 0$$

$$(a-2\sqrt{2})^2 + 2(a-2\sqrt{2}) + 1 - 4\sqrt{2}(\sqrt{2}a - 2 - \sqrt{2} - a + \sqrt{2} + 1) = 0$$

$$a^2 - 4\sqrt{2}a + 8 + 2a - 4\sqrt{2} + 1 - 4\sqrt{2}(\sqrt{2}a - a - 1) = 0$$

$$a^2 - 4\sqrt{2}a + 2a + 9 - 4\sqrt{2} - 8a + 4\sqrt{2}a + 4\sqrt{2} = 0$$

$$a^2 - 6a + 9 = 0$$

$$(a-3)^2 = 0$$

よって  $a = 3$ 

11

解説

(1) 方程式①の解の1つが3であるから、 $x = 3$  を方程式①に代入すると

$$3^2 - 7 \times 3 + a = 0$$

よって  $a = 12$ (2) 方程式②で、 $b$  を12としたとき、解が1つだけになったから、2次方程式  $x^2 + 12x + c = 0$  の判別式について

$$12^2 - 4 \times 1 \times c = 0$$

よって  $c = 36$ 

(3) 方程式②の間違った解を求める

$$x^2 + 12x + 36 = 0$$

$$(x+6)^2 = 0$$

よって  $x = -6$ したがって、正しい解の1つは  $-6 + 2 = -4$  $x^2 + bx + 36 = 0$  に  $x = -4$  を代入すると

$$(-4)^2 + b \times (-4) + 36 = 0$$

よって  $b = 13$ 方程式②は、 $x^2 + 13x + 36 = 0$  で、これを解くと

$$(x+4)(x+9) = 0$$

したがって  $x = -4, -9$ 

12 [東邦大]

解説

2次方程式  $x^2 + mx + 8 = 0$  を解くと  $x = \frac{-m \pm \sqrt{m^2 - 32}}{2}$

これが有理数となるための条件は、 $\sqrt{m^2 - 32}$  が有理数となることである。 $\sqrt{m^2 - 32}$  が有理数となるための条件は、 $m$  は自然数より、 $\sqrt{m^2 - 32} = k$  を満たす0以上の整数  $k$  が存在することである。

$$m^2 - 32 = k^2 \quad \text{から} \quad (m+k)(m-k) = 32$$

ここで、 $m+k \geq m-k$  であり、また  $(m+k) - (m-k) = 2k$  より、 $m+k$  と  $m-k$  の偶奇は一致する。よって  $(m+k, m-k) = (8, 4), (16, 2)$ これを解いて  $(m, k) = (6, 2), (9, 7)$  したがって  $m = 6, 9$ 

13 [麗澤大]

解説

$$0 < x < \sqrt{3} \quad \text{のとき} \quad 0 < \frac{1}{3}x^2 < 1 \quad \text{であるから} \quad x^2 = 2x \quad \text{よって} \quad x = 0, 2 \quad (\text{不適})$$

$$\sqrt{3} \leq x < \sqrt{6} \quad \text{のとき} \quad 1 \leq \frac{1}{3}x^2 < 2 \quad \text{であるから} \quad x^2 - 1 = 2x \quad \text{よって} \quad x^2 - 2x - 1 = 0$$

$$\sqrt{3} \leq x < \sqrt{6} \quad \text{であるから} \quad x = 1 + \sqrt{2}$$

$$\sqrt{6} \leq x < 3 \quad \text{のとき} \quad 2 \leq \frac{1}{3}x^2 < 3 \quad \text{であるから} \quad x^2 - 2 = 2x \quad \text{よって} \quad x^2 - 2x - 2 = 0$$

$$\sqrt{6} \leq x < 3 \quad \text{であるから} \quad x = 1 + \sqrt{3}$$

14 [佐賀大]

解説

(1)  $x^2 + 2(n-5)x + n^2 - n = 0$  ……①の判別式を  $D$  とすると

$$\frac{D}{4} = (n-5)^2 - (n^2 - n) = -9n + 25$$

①は実数解をもつから  $D \geq 0$ 

よって  $-9n + 25 \geq 0$  ゆえに  $n \leq \frac{25}{9}$

 $n$  は0以上の整数であるから  $n = 0, 1, 2$ (2) 2桁の自然数の十の位を  $a$ 、一の位を  $b$  ( $1 \leq a \leq 9, 0 \leq b \leq 9$ ) とすると、条件から

$$(a+b)^2 = 10a+b$$

よって  $a^2 + 2(b-5)a + b^2 - b = 0$  ……②

(1) から  $b = 0, 1, 2$ [1]  $b = 0$  のとき

②から  $a^2 - 10a = 0$  すなわち  $a(a-10) = 0$

 $1 \leq a \leq 9$  より、これを満たす  $a$  は存在しない。[2]  $b = 1$  のとき

②から  $a^2 - 8a = 0$  すなわち  $a(a-8) = 0$

 $1 \leq a \leq 9$  より  $a = 8$ [3]  $b = 2$  のとき

②から  $a^2 - 6a + 2 = 0$  これを満たす整数  $a$  は存在しない。

[1] ~ [3] より  $a = 8, b = 1$ 

よって、求める2桁の自然数は 81

15 [長崎県]

解説

- (1) (ア) 必要な棒の本数は 10 本ずつ増えていくから、4 番目の図形を作るのに必要な棒の本数は

$$41 + 10 = 51 \text{ (本)}$$

- (イ)  $n$  番目の図形において、3 個の正方形を作るのに必要な棒の本数は、それぞれ  $4n, 4(n+1), 4(n+2)$

と表すことができる。

重なっている部分の棒の本数は

$$n + (n+1) = 2n + 1$$

よって、 $n$  番目の図形を作るのに必要な棒の本数は

$$\begin{aligned} 4n + 4(n+1) + 4(n+2) - (2n+1) \\ = 10n + 11 \\ = 10(n+1) + 1 \end{aligned}$$

$n+1$  は自然数であるから、何番目の図形であっても、作るのに必要な棒の本数は一の位の数が 1 である。

- (2) (ア) 4 番目の図形において、3 個の正方形を作るのに必要な棒の本数は、それぞれ

$$4 \times 5 \times 2 = 40 \text{ (本)}$$

$$5 \times 6 \times 2 = 60 \text{ (本)}$$

$$6 \times 7 \times 2 = 84 \text{ (本)}$$

重なっている部分の棒の本数は

$$4 + 5 = 9 \text{ (本)}$$

よって、求める棒の本数は

$$40 + 60 + 84 - 9 = 175 \text{ (本)}$$

- (イ)  $n$  番目の図形において、3 個の正方形を作るのに必要な棒の本数は、それぞれ

$$2n(n+1), 2(n+1)(n+2), 2(n+2)(n+3)$$

と表すことができる。

重なっている棒の本数は

$$n + (n+1) = 2n + 1$$

よって、 $n$  番目の図形を作るのに必要な棒の本数は

$$\begin{aligned} 2n(n+1) + 2(n+1)(n+2) + 2(n+2)(n+3) - (2n+1) \\ = (2n^2 + 2n) + 2(n^2 + 3n + 2) + 2(n^2 + 5n + 6) - (2n+1) \\ = 6n^2 + 16n + 15 \end{aligned}$$

したがって  $6n^2 + 16n + 15 = 421$

$$3n^2 + 8n - 203 = 0$$

解の公式により 
$$n = \frac{-8 \pm \sqrt{8^2 - 4 \times 3 \times (-203)}}{2 \times 3}$$

$$= -\frac{29}{3}, 7$$

$n$  は自然数であるから、 $n = -\frac{29}{3}$  は問題に適さない。

$n = 7$  は問題に適する。

16 [センター本試]

解説

- (1)  $x = a+1$  を  $P$  に代入して

$$P = (a+1)(a+4)(2a+1) - 3 = (a^2 + 5a + 4)(2a-1) = 2a^3 + 9a^2 + 3a - 9$$

(2)  $P$  を展開して  $P = x(x+3)(2x-3) = 2x^3 + 3x^2 - 9x$

よって、 $x = a$  のときの  $P$  の値は  $P = 2a^3 + 3a^2 - 9a$

これが、 $x = a+1$  のときの  $P$  の値と等しいから、(1) より

$$2a^3 + 3a^2 - 9a = 2(a+1)^3 + 3(a+1)^2 - 9(a+1)$$

整理して  $3a^2 + 6a - 9 = 0$

よって 
$$a = \frac{-3 \pm \sqrt{3^2 - 3 \cdot (-2)}}{3} = \frac{-3 \pm \sqrt{15}}{3}$$

また、 $x = \frac{-3 - \sqrt{15}}{3} + 1 = -\frac{\sqrt{15}}{3}$  のとき

$$\begin{aligned} P &= 2 \cdot \left(-\frac{\sqrt{15}}{3}\right)^3 + 3 \cdot \left(-\frac{\sqrt{15}}{3}\right)^2 - 9 \cdot \left(-\frac{\sqrt{15}}{3}\right) \\ &= -2 \cdot \frac{15\sqrt{15}}{27} + 3 \cdot \frac{15}{9} + 3\sqrt{15} \\ &= 5 + \frac{17\sqrt{15}}{9} \end{aligned}$$

17 [センター本試]

解説

$$\begin{aligned} (x^2 + ax + 4)(x^2 + bx - c) &= x^4 + bx^3 - cx^2 + ax^3 + abx^2 - acx + 4x^2 + 4bx - 4c \\ &= x^4 + (a+b)x^3 + (ab-c+4)x^2 + (4b-ac)x - 4c \end{aligned}$$

これが  $x^4 + 5x^3 + 6x^2 + kx - 8$  と一致するから、係数を比べると

$$a + b = 5 \quad \dots\dots \text{①}, \quad ab - c + 4 = 6 \quad \dots\dots \text{②},$$

$$4b - ac = k \quad \dots\dots \text{③}, \quad -4c = -8 \quad \dots\dots \text{④}$$

- (1) ④ より  $c = 2$

- (2) ① より  $b = 5 - a$

これと  $c = 2$  を ② に代入すると  $a(5-a) - 2 + 4 = 6$

よって  $a^2 - 5a + 4 = 0$  これを解くと  $a = 1, 4$

$a = 1$  のとき、① より  $b = 4$   $a = 4$  のとき、① より  $b = 1$

$a < b$  すなわち  $a = 1, b = 4$  のとき、③ から

$$4 \cdot 4 - 1 \cdot 2 = k \quad \text{よって} \quad k = 14$$

$a \geq b$  すなわち  $a = 4, b = 1$  のとき、③ から

$$4 \cdot 1 - 4 \cdot 2 = k \quad \text{よって} \quad k = -4$$

- (3) [1]  $a < b$  のとき

(2) から  $(x^2 + x + 4)(x^2 + 4x - 2) = 0$

よって  $x^2 + x + 4 = 0$  または  $x^2 + 4x - 2 = 0$

$x^2 + x + 4 = 0$  の判別式  $D$  について、 $D = 1^2 - 4 \cdot 1 \cdot 4 = -15 < 0$  であるから、

$x^2 + x + 4 = 0$  の実数解はない。

$x^2 + 4x - 2 = 0$  より  $x = -2 \pm \sqrt{2^2 - 1 \cdot (-2)} = -2 \pm \sqrt{6}$

$x > 0$  であるから  $x = -2 + \sqrt{6}$

- [2]  $a \geq b$  のとき

(2) から  $(x^2 + 4x + 4)(x^2 + x - 2) = 0$

よって  $x^2 + 4x + 4 = 0$  または  $x^2 + x - 2 = 0$

$x^2 + 4x + 4 = 0$  より  $(x+2)^2 = 0$  よって  $x = -2$

これは  $x > 0$  を満たさない。

$x^2 + x - 2 = 0$  を解くと  $x = -2, 1$   $x > 0$  であるから  $x = 1$